

平成 2 7 年度
埼玉県高等学校体育連盟
剣道専門部要覧

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部
専門部ホームページ
(<http://saitama-koukou-kendo.jp/>)

目 次

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部内規	1
埼玉県高等学校剣道連盟剣道専門部ホームページ運営管理規定	2
個人情報保護法に伴う埼玉県高体連主催剣道大会参加について	3
平成27年度埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部役員	4
平成27年度県内大会予定	5
平成27年度県内行事・県外行事予定	6
平成27年度大会役員表	7
平成27年度専門部役員表	8
競技役員役割分担一覧表	9
関東高校剣道大会県予選会要項	10
学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会県予選会要項	12
埼玉県剣道大会要項	13
県民総合体育大会兼埼玉県高等学校剣道新人大会要項	14
大会申し合わせ事項	15
全国高体連剣道部申し合わせ事項	19
埼玉県高体連参加資格	23
強化行事について	24
指導普及部行事（審査・講習）について	25
高校剣道連盟一級審査会要項	26
高校剣道連盟昇段審査会要項	27・28
昇段審査個人申込用紙	29・30・31
初心者講習会について	32・33
平成27年度指導普及部役割分担	34
埼玉県剣道連盟入会申込書	35
高校剣道連盟会費について	36
高校剣道連盟登録用紙の入力の仕方	37
高校剣道連盟会員登録申込書学校番号	38
総務部役割分担表	39
支部登録・段審査関係用紙	
剣道部員調査用紙	40
昇段審査学校団体用紙	41
高校剣道連盟会費納入書	42
高体連大会運営負担金納入書	43

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部内規

1. 名 称 埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部と称する。
2. 役 員
 - (1) 専門部に次の役員を置く。

専門部長	1名
副部長	若干名
委員長	1名
副委員長	4名
常任委員	26名
委員	若干名
 - (2) 埼玉県剣道連盟加盟団体高校剣道連盟として次の役員を置く。

会長	1名
理事	1名
事務局長	1名
会計	1名
監査	2名
3. 組 織 各部の組織と業務は次のとおりとする。
 - (1) 総務部（5名）
 - ・庶務・会計・記録広報・議事録
 - (2) 指導普及部（7名）
 - ・審査会・登録・講習会
 - (3) 競技部（9名）
 - ・大会運営
 - (4) 強化部（9名）
 - ・選手強化

※各部の人数は原則とする。
4. 会 議 専門部に次の会議を置く。
 - (1) 部長・委員長会 専門部の重要事項の審議
(部長、副部長、委員長、副委員長、各部部長)
 - (2) 常任委員会 役員改選案・行事計画案・大会要項・運営要領
内規改正
(部長、副部長、委員長、副委員長、常任委員、委員)
 - (3) 専門部委員会 役員承認・行事計画・その他（各校剣道部顧問）
 - (4) 代表者会議 大会申し合わせ事項（各校監督・主将）
 - (5) 審判委員会 審判員選出
(審判長、副審判長、委員長、副委員長、競技部)
5. 役員の選出
 - (1) 専門部長は常任委員会の推薦により高等学校長に依頼する。
 - (2) 副部長、委員長、各部部長は常任委員会で選出し、専門部委員会で承認する。但し、副委員長は東西南北の各地区より1名選出する。
 - (3) 常任委員は専門部委員より選出されたもの。剣道専門部会計担当（2名）。高校剣道連盟役員とする。
 - (4) 委員は部長、副部長、委員長、常任委員の経験者より常任委員会の推薦により依頼することができる。
 - (5) 高校剣道連盟の兼務役員は常任委員会で選出する。
 - (6) 部長、副部長、委員長、副委員長は常任委員の定数に含まない。
6. 役員の任期 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

以上の規約は、埼玉県高等学校体育連盟規約・種目別専門部規定を基準として規定した。

	平成	2年	2月20日
改正	平成	3年12月18日	
改正	平成	5年12月14日	
改正	平成12年	12月5日	
改正	平成18年	2月17日	
改正	平成19年	12月12日	
改正	平成22年	2月3日	
改正	平成23年	4月19日	

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部 ホームページ運用規定

（目的）

1－1 本規定は埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部（以下専門部という）がインターネットホームページを活用し、専門部に関する情報を提供することにより、わかりやすく開かれた専門部を目指すことを目的として、ホームページの管理運用について定めることとする。

（ホームページ管理者およびホームページ管理運用責任者）

2－1 ホームページ管理者（以下管理者という）部長とし、ホームページの管理運用を統括する。

2－2 管理者はホームページ管理運用責任者（以下責任者という）を置き、ホームページの管理運用にあたらせる。責任者は委員長とする。

（ホームページ管理運営委員会の設置）

3－1 ホームページの管理運用、ホームページに掲載する情報の選定を行うため、ホームページ管理運営委員会（以下「委員会」という）を設置する。

3－2 委員会は次の事項を掌握する。

- ①ホームページの管理運用に関すること。
- ②ホームページの掲載内容に関すること。
- ③セキュリティに関すること。
- ④人権および個人情報保護に関すること。
- ⑤知的所有権に関すること。
- ⑥その他

3－3 委員会は専門委員の中から管理者が任命するものをもって構成する。

- ①委員会には、委員長（管理者）、委員長代理（責任者）を置く。
- ②委員長は、委員会を招集し、委員会を主宰する。
- ③委員長代理は、委員長を補佐し、委員長が不在の場合に、その職務を代理する。

（不正進入および改ざん等に対応）

4－1 管理者は、ホームページのセキュリティを確保する。

（個人情報。知的所有権の保護）

5－1 ホームページに情報を掲載する場合は、人権、個人情報、著作権等の知的所有権の保護等に十分注意する。

（ホームページ上に掲載する情報）

6－1 ホームページ上に掲載する情報は、次のものとする。

- ①専門部要覧
- ②大会結果
- ③段級審査会
- ④その他剣道に関すること

附則

この規則は、平成16年5月1日から施行する。

個人情報保護法に伴う埼玉県高体連主催剣道大会参加について

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長 坂井 順司
(埼玉県立大宮東高等学校長)

平素から、本専門部の活動にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「個人情報保護法」の施行に伴い、(財)全国高等学校体育連盟および本県高等学校体育連盟からの通知があり、本専門部において、大会開催に伴う個人情報保護につきまして、下記のとおり実施いたしますので、ご理解とご承諾を賜りたくお願い申し上げます。

なお、不明な点がありましたら、各校剣道部顧問を通じて専門部までお問い合わせください。

記

- 1 適法かつ公正な手段によって個人情報を取得いたします。
- 2 取得した個人情報は、利用目的以外で使用することはありません。
- 3 法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。ただし、組合せ表および大会結果は、本専門部ホームページおよび認められた報道機関により、新聞・雑誌および関連ホームページに公開されることがあります。
- 4 個人情報は正確かつ安全に管理し、紛失、破壊、改ざんおよび漏えいなどの防止に努めます。
- 5 本人および保護者から個人情報の開示・訂正・追加・利用停止・消去等の要求があった場合は速やかに対応します。

問い合わせ先

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部

委員長 若 松 秀 樹 (県立ふじみ野高等学校)

〒356-0053 ふじみ野市大井1158-1

T E L 049-264-7801 (代表)

F A X 049-278-1175

平成26・27年度 埼玉県高体連剣道専門部役員

(50音順)

専 門 部 長	坂 井 順 司 (大 宮 東)		
副 部 長	吉 長 英 二 (市立浦和)		
"	原 義 克 (立教新座)		
委 員 長	若 松 秀 樹 (ふじみ野)		
副 委 員 長	石 井 浩 三 (草 加 南) : 東部支部委員長		
"	森 田 智 裕 (坂 戸) : 西部支部委員長		
"	土 谷 徳 男 (川 口 総 合) : 南部支部委員長		
"	持 田 泰 (秩父農工科) : 北部支部委員長		
常 任 委 員	池 田 武 (寄居城北)	石 井 均 (羽生第一)	泉 英 毅 (蕨)
	板 垣 裕 一 (川越工業)	井 上 彰 博 (熊谷農業)	上 田 伸 一 (川 越 南)
	勝 間 健 (春日部)	菅 野 英 夫 (東農大三)	栗 原 洋 右 (市立川口)
	小 島 貴 裕 (浦 和)	斉 藤 洋 平 (伊奈学園)	設 楽 浩 (秩父農工科)
	杉 山 栄 樹 (秀明英光)	田 中 隆 宏 (春日部工業)	津 坂 宗 秀 (大 宮 東)
	土 田 毅 (児玉白楊)	那 須 健 司 (城北埼玉)	楡 井 英 征 (川 口 北)
	橋 本 一 (松 伏)	平 井 健 輔 (淑徳与野)	細 野 二 郎 (滑川総合)
	蒔 田 正 人 (埼 玉 栄)	松 井 俊 之 (草 加 西)	森 俊 幸 (熊 谷)
	森 田 一 成 (浦 和)	山 口 雅 之 (熊谷工業)	渡 辺 秀 樹 (越ヶ谷)
	渡 辺 博 英 (所 沢 北)		
委 員	梅 澤 誠 (皆 野)	小 久 保 聡 (越谷総合技)	
高校剣道連盟役員	森 田 一 成 (浦 和)	橋 本 一 (松 伏)	
剣道専門部会計	森 俊 幸 (熊 谷)	山 口 雅 之 (熊谷工業)	
総 務 部 (5名)	◎ 楡 井 英 征 (川 口 北)	○ 森 俊 幸 (熊 谷)	◎部長 ○副部長
	井 上 彰 博 (熊谷農業)	橋 本 一 (松 伏)	山 口 雅 之 (熊谷工業)
指 導 普 及 部 (7名)	◎ 土 田 毅 (児玉白楊)	○ 松 井 俊 之 (草 加 西)	
	板 垣 裕 一 (川越工業)	杉 山 栄 樹 (秀明英光)	田 中 隆 宏 (春日部工業)
	細 野 二 郎 (滑川総合)	持 田 泰 (秩父農工科)	
競 技 部 (10名)	◎ 渡 辺 秀 樹 (越ヶ谷)	○ 上 田 伸 一 (川 越 南)	
	池 田 武 (寄居城北)	石 井 浩 三 (草 加 南)	勝 間 健 (春日部)
	小 島 貴 裕 (浦 和)	設 楽 浩 (秩父農工科)	土 谷 徳 男 (川 口 総 合)
	森 田 智 裕 (坂 戸)	渡 辺 博 英 (所 沢 北)	
強 化 部 (10名)	◎ 津 坂 宗 秀 (大 宮 東)	○ 那 須 健 司 (城北埼玉)	
	石 井 均 (羽生第一)	泉 英 毅 (蕨)	菅 野 英 夫 (東農大三)
	栗 原 洋 右 (市立川口)	斉 藤 洋 平 (伊奈学園)	平 井 健 輔 (淑徳与野)
	蒔 田 正 人 (埼 玉 栄)	森 田 一 成 (浦 和)	

平成27・28年度 埼玉県高体連剣道専門部役員

会 評 理 事 会 監	長 員 事 長 計 事	坂 井 順 司 (大 宮 東)	
議 務 局		坂 井 順 司 (大 宮 東)	
		原 義 克 (立教新座)	
		森 田 一 成 (浦 和)	
		橋 本 一 (松 伏)	
		小 久 保 聡 (越谷総合技)	楡 井 英 征 (川 口 北)

平成 2 7 年度 県内大会予定表

大 会 名		開 催 期 日	会 場 名	試 合 形 式	申 込 み 方 法	代 表 者 会 議 期 日	代 表 者 会 議 会 場
支部大会 (各支部主催)	東部	4 月 1 8 日 (土) 団体 4 月 1 9 日 (日) 個人	県 立 久 喜 北 陽 高 校 県 立 不 動 高 校	トーナメント戦	代表者会議に 直接申込み	4 月 1 5 日 (水)	春日部高校
	西部	4 月 1 8 日 (土) 団体 4 月 1 9 日 (日) 個人	県 立 坂 戸 高 校 県 立 坂 戸 高 校	トーナメント戦	代表者会議に 直接申込み	4 月 1 4 日 (火)	坂戸高校
	南部	4 月 1 8 日 (土) 団体 4 月 1 9 日 (日) 個人	県 立 大 宮 東 高 校 県立伊奈学園高校	トーナメント戦	代表者会議に 直接申込み	4 月 1 6 日 (水)	浦和高校
	北部	4 月 1 8 日 (土) 団体 4 月 1 9 日 (日) 個人	寄 居 総 合 体 育 館 〃	トーナメント戦	代表者会議に 直接申込み	4 月 1 5 日 (水)	熊谷高校
関東大会県予選会		4 月 2 5 日 (土) 男子団体 4 月 2 6 日 (日) 女子団体 5 月 2 日 (土) 男女個人	県 立 武 道 館 〃 〃	トーナメント戦 〃 〃	代表者会議に 直接申込み	4 月 2 1 日 (火) 顧問総会 (専門委員 会) を兼ねる	県武道館
学校総合体育大会 兼全国総合体育大会 県予選会		5 月 2 9 日 (金) 男女個人 6 月 1 4 日 (日) 男子団体 1 5 日 (月) 女子団体	県 立 武 道 館 越谷市立総合体育館 〃	トーナメント戦 トーナメント戦 トーナメント戦	個人、団体と も代表者会議 に直接申込み	5 月 2 5 日 (月)	県武道館
新人大会地区 予選会	東部	1 0 月 1 0 日 (土)	県立春日部工業高校	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
	西部	1 0 月 1 1 日 (日)	城 北 埼 玉 高 校	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
	南部	1 0 月 1 0 日 (土)	県 立 浦 和 高 校	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
	北部	1 0 月 1 0 日 (土)	県立寄居城北高校	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
埼玉県剣道大会 主催 埼玉県剣道連盟		1 1 月 7 日 (土)	県 立 武 道 館	個人戦 トーナメント戦	郵送申込み	新人大会の代表者会 議でプログラム配布	なし 責任抽選
新人大会 兼県民総合体育大会		1 1 月 2 3 日 (月) 男子団体 2 4 日 (火) 女子団体	県 立 武 道 館 〃	トーナメント戦 〃	代表者会議に 直接申込み	1 1 月 2 日 (月)	県立スポーツ総合 センター

平成 2 7 年度 県内大会予定表

大 会 名		開 催 期 日	会 場 名	試 合 形 式	申 込 み 方 法	代 表 者 会 議 期 日	代 表 者 会議会場
支部大会 (各支部主催)	東部	4 月 1 8 日 (土) 団体 4 月 1 9 日 (日) 個人	県 立 久 喜 北 陽 高 校 県 立 不 動 高 校	トーナメント戦	代表者会議に 直接申込み	4 月 1 5 日 (水)	春日部高校
	西部	4 月 1 8 日 (土) 団体 4 月 1 9 日 (日) 個人	県 立 坂 戸 高 校 県 立 坂 戸 高 校	トーナメント戦	代表者会議に 直接申込み	4 月 1 4 日 (火)	坂戸高校
	南部	4 月 1 8 日 (土) 団体 4 月 1 9 日 (日) 個人	県 立 大 宮 東 高 校 県立伊奈学園高校	トーナメント戦	代表者会議に 直接申込み	4 月 1 6 日 (水)	浦和高校
	北部	4 月 1 8 日 (土) 団体 4 月 1 9 日 (日) 個人	寄 居 総 合 体 育 館 〃	トーナメント戦	代表者会議に 直接申込み	4 月 1 5 日 (水)	熊谷高校
関東大会県予選会		4 月 2 5 日 (土) 男子団体 4 月 2 6 日 (日) 女子団体 5 月 2 日 (土) 男女個人	県 立 武 道 館 〃 〃	トーナメント戦 〃 〃	代表者会議に 直接申込み	4 月 2 1 日 (火) 顧問総会 (専門委員 会) を兼ねる	県武道館
学校総合体育大会 兼全国総合体育大会 県予選会		5 月 2 9 日 (金) 男女個人 6 月 1 4 日 (日) 男子団体 1 5 日 (月) 女子団体	県 立 武 道 館 越谷市立総合体育館 〃	トーナメント戦 トーナメント戦 トーナメント戦	個人、団体と も代表者会議 に直接申込み	5 月 2 5 日 (月)	県武道館
新人大会地区 予選会	東部	1 0 月 1 0 日 (土)	県立春日部工業高校	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
	西部	1 0 月 1 1 日 (日)	城 北 埼 玉 高 校	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
	南部	1 0 月 1 0 日 (土)	県 立 浦 和 高 校	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
	北部	1 0 月 1 0 日 (土)	県立寄居城北高校	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
埼玉県剣道大会 主催 埼玉県剣道連盟		1 1 月 7 日 (土)	県 立 武 道 館	個人戦 トーナメント戦	郵送申込み	新人大会の代表者会 議でプログラム配布	なし 責任抽選
新人大会 兼県民総合体育大会		1 1 月 2 3 日 (月) 男子団体 2 4 日 (火) 女子団体	県 立 武 道 館 〃	トーナメント戦 〃	代表者会議に 直接申込み	1 1 月 2 日 (月)	県立スポーツ総合 センター

平成27年度 大会役員表

(50音順)

1	大会	会長	杉	山	剛	士	(浦和)	:	高	体	連	会	長	
2	大会	副会長	坂	井	順	司	(大宮東)	:	専	門	部	部	長	
3	大会	副委員長	若	松	樹	(ふじみ野)	:	専	門	部	委	員	長	
4	大会	副委員長	石	井	三	(草加南)	:	:	東	部	支	部	員	
		"	森	田	裕	(坂戸)	:	:	西	部	支	部	員	
		"	土	谷	男	(川口総合)	:	:	南	部	支	部	員	
		"	持	田	泰	(秩父農工科)	:	:	北	部	支	部	員	
5	審判	委員長	原	義	克	(立教新座)	:	専	門	部	副	部	長	
6	副審判	委員長	吉	長	二	(市立浦和)	:	専	門	部	副	部	長	
7	大会	総務	渡	辺	樹	(越ヶ谷)	:	競	技	部			長	
8	大会	委員会	上	村	一	(西武文理)	:							
9	大会	委員会	加	藤	郎	(大宮武蔵野)	:	森	俊	幸	(熊谷)			
		"	下	梶	子	(三郷北)	:	山	口	雅	之	(熊谷工業)		
10	審判員		相	川	浩	一	(本庄第一)	北	村	和	男	(朝霞)	恒	
			染	葉	幸	枝	(上尾)	木	村	篤	史	(進修館)	士	
			浅	子		昇	(春日部工)	草	深	将	也	(本庄第一)	堂	
			浅	野		猛	(不動岡)	久	保	幸	一	(浦和東)	永	
			浅	利	幸	弘	(越谷北)	栗	田	幸	枝	(越谷西)	中	
			新	井	三	夫	(小川南)	栗	原	幸	右	(市立川口)	梨	
			新	井	義	久	(飯能南)	小	池	哲	志	(草加東)	那	
			池	田		忍	(深谷商業)	小	久	保	聡	(越谷総合技)	橋	
			池	田		武	(寄居城北)	小	島	貴	裕	(浦和)	早	
			石	井		智	(川越女子)	小	島	武	文	(新座)	林	
			石	井		均	(羽生第一)	小	島	光	正	(深谷第一)	東	
			石	橋	次	雄	(武蔵越生)	小	仁	熊	行	(川越東)	平	
			石	綿	宏	幸	(大宮)	木	幡	博	久	(与野)	井	
			泉	英		毅	(蕨)	近	藤		毅	(熊谷女子)	藤	
			板	垣	裕	一	(川越工業)	斉	藤	洋	平	(伊奈学園)	保	
			井	上	彰	博	(熊谷農業)	佐	々	木	覚	(武南)	細	
			今	井	広	行	(南稜)	設	楽		浩	(秩父農工科)	堀	
			伊	与	田	毅	(浦和北)	嶋	村	元	郎	(吉川美南)	本	
			上	田	伸	一	(川越南)	清	水	健	晴	(所沢西)	前	
			後	内	雄	士	(大宮東)	清	水	栄	優	(豊岡)	蒔	
			内	梅	康	博	(熊谷農業)	杉	山	河	樹	(秀明英光)	真	
			梅	嶋	功	至	(鳩ヶ谷)	関	河	徳	昭	(浦和一女)	松	
			太	田	か	り	(花咲徳栄)	関	根	龍	一	(ふじみ野)	松	
			大	場	千	恵	(草加西)	関	谷	正	史	(富士見)	三	
			岡	崎	晴	夫	(誠和福祉)	染	野	大	介	(本庄第一)	森	
			小	野	友	栄	(進修館)	高	木	和	夫	(所沢)	吉	
			小	野	秀	樹	(岩槻北陵)	高	木	由	美	(坂戸西)	米	
			小	野	島	優	(上尾鷹の台)	高	橋	福	司	(久喜工業)	和	
			勝	間		健	(春日部)	竹	内	佑	樹	(川越初雁)	田	
			金	子	信	昭	(白岡)	千	島	宏	弘	(埼玉栄)	辺	
			金	子	優	理	(久喜)	津	久	井	来	(ふじみ野)	渡	
			鴨	志	田	修	(山村国際)	津	坂	宗	秀	(大宮東)	渡	
			菅	野	英	夫	(東農大三)	津	坂		毅	(児玉白楊)	會	
			菊	地	道	隆	(上尾)	土	田					
11	競技役員		萌	(新座)				斉	藤	隆	(川越初雁)		正	
12	運営委員		阿	部	美								岡	
			石	部	康	雄	(市立大宮西)	坂	本	美	佐	子	(寄居城北)	島
			井	橋	桂	一	(秩父)	鎮	目	浩	市	(開智未来中高)	中	
			岩	上	敦	史	(伊奈学園)	篠	田	健	志	(蕨)	中	
			小	田	靖	史	(春日部東)	篠	原	規	昭	(開智中高)	萩	
			金	原	啓	雅	(成徳深谷)	清	水	千	聖	(星野)	原	
			金	子	章	臣	(白岡)	鈴	木	裕	子	(大宮南)	坂	
			金	子	久	恵	(三郷北)	高	橋		香	(春日部)	平	
			管	野	治	虫	(蕨)	高	橋	揺	衣	(開智中高)	蛭	
			後	藤	理	江	(和光国際)	高	山	中	貴	(山村国際)	深	
			小	林	大	雅	(星野)	田	中	絃	宏	(春日部工業)	古	
			小	林	洋	平	(深谷第一)	戸	中	隆	美	(川越女子)	山	
			金	野	裕	二	(山村学園)	内	藤	遙	泉	(山村学園)	山	
			坂	本	圭	一	(狭山清陵)	中	里	寛	(久喜北陽)		渡	
													部	
													文	
													弘	
													八	
													潮	
													南	

* 上記大会役員の先生方は、すべての大会運営にご協力をお願いします。

* 大会当日に欠席される場合は、事前に 勝間 健先生(春日部高校)まで連絡して下さい。

平成27年度 埼玉県高体連剣道専門部役員表

(50音順)

		総務部						23名	
東部支部	6名	小久保 聡 (越谷総合技)	嶋村元太郎 (吉川美南)	下梶 温子 (三郷北)	中阪 絹子 (幸手桜)	橋本 一 (松伏)	渡部 文弘 八潮南		
西部支部	5名	斉藤 隆 (川越初雁)	清水 優 (豊岡)	高木 和夫 (所沢)	田中 絃貴 (山村国際)	渡辺 光仁 埼玉平成			
南部支部	8名	梅嶋 功至 (鳩ヶ谷)	加藤 太一 (大宮武蔵野)	佐々木 寛 (武南)	篠原 規昭 (開智中高)	関口 徳昭 (浦和一女)	中島 哲也 (栄北)	楡井 英征 (川口北)	原口 友美 上尾南
北部支部	4名	井上 彰博 (熊谷農業)	梅澤 誠 (皆野)	森 俊幸 (熊谷)	山口 雅之 (熊谷工業)				
		競技部						63名	
東部支部	18名	浅利 幸弘 (越谷北)	石井 浩三 (草加南)	勝間 健 (春日部)	金子 章臣 (白岡)	金子 信昭 (白岡)	鎮目 浩市 (開智未来中高)	土堂 遼平 (八潮)	中里 寛 (久喜北陽)
		中村 彩香 (三郷)	梨本 雄二 (鷺宮)	東 敏行 (越谷東)	平林 満 (叡明)	古井 秀明 (久喜工業)	前田 美穂 (三郷工技)	三谷 豪秀 (草加南)	山田 亘 (吉川美南)
		和田 光史 (幸手桜)	渡辺 秀樹 (越ヶ谷)	0	0	0			
西部支部	18名	阿部 美萌 (新座)	新井 義久 (飯能南)	石橋 次雄 (武蔵越生)	上田 伸一 (川越南)	鴨志田 修 (山村国際)	小仁熊康行 (川越東)	坂本 圭一 (狭山清陵)	清水 健晴 (所沢西)
		清水 千聖 (星野)	関根 龍一 (ふじみ野)	高木由美子 (坂戸西)	津久井未来 (ふじみ野)	恒川 渉 (富士見)	藤森 祐一 (山村国際)	堀内 眞一 (秋草学園)	正岡慶二郎 (入間向陽)
		森田 智裕 (坂戸)	渡辺 博英 所沢北						
南部支部	16名	染葉 幸枝 (上尾)	石綿 宏幸 (大宮)	今井 広行 (南稜)	後 雄士 (大宮東)	小野島 優 (上尾鷹の台)	小島 貴裕 (浦和)	木幡 博久 (与野)	鈴木 裕子 (大宮南)
		土谷 徳男 (川口総合)	萩原 健太 (栄東)	林 信一 (いずみ)	坂 真紀子 (浦和明の星)	蛭沼浩一郎 (浦和)	本郷 利枝 (秀明英光)	松下 雄宏 開智県立川口	渡辺 周一 関河諒
北部支部	11名	新井三千夫 (小川)	池田 武 (寄居城北)	内海 康博 (熊谷農業)	小野 友栄 (進修館)	小島 光正 (深谷第一)	小林 洋平 (本庄)	設楽 浩 (秩父農工科)	関河 諒 (児玉)
		高山 智裕 (皆野)	永久 貴子 (本庄第一)	深谷 登 深谷					
		強化部						36名	
東部支部	10名	浅野 猛 (不動岡)	石井 均 (羽生第一)	太田かおり (花咲徳栄)	大場 千恵 (草加西)	金子優香理 (久喜)	栗田 幸枝 (越谷西)	小池 哲志 (草加東)	高橋 福司 (久喜工業)
		真坂 忠光 (久喜北陽)	松岡 和彦 (昌平)						
西部支部	7名	小島 武文 (新座)	金野 裕二 (山村学園)	竹内 佑樹 (川越初雁)	那須 健司 (城北埼玉)	藤林 洋平 (秀明)	山本 隆浩 (川越)	渡會 愛梨 筑波大坂戸	
南部支部	13名	泉 英毅 (蕨)	伊与田 毅 (浦和北)	小野 秀樹 (岩槻北陵)	菊地 道隆 (上尾)	久保 幸一 (浦和東)	栗原 洋右 (市立川口)	斉藤 洋平 (伊奈学園)	竹田 宏樹 (埼玉栄)
		津坂 宗秀 (大宮東)	平井 健輔 (淑徳与野)	保坂 武志 (埼玉栄)	蒔田 正人 (埼玉栄)	森田 一成 (浦和)			
北部支部	6名	相川 浩一 (本庄第一)	菅野 英夫 (東農大三)	草深 将也 (本庄第一)	染野 大介 (本庄第一)	千島 貴弘 (鳩山)	米山 伸仁 (熊谷商業)		
		指導普及部						33名	
東部支部	7名	浅子 昇 (春日部工)	岩田 靖史 (春日部東)	岡崎 晴夫 (誠和福祉)	金子 久恵 (三郷北)	高橋 香 (春日部)	田中 隆宏 (春日部工業)	松井 俊之 (草加西)	
西部支部	7名	石井 智 (川越女子)	板垣 裕一 (川越工業)	北村 和男 (朝霞)	後閑 理江 (和光国際)	関谷 正史 (富士見)	戸松 遥美 (川越女子)	内藤 泉 (山村学園)	
南部支部	9名	阿部 康雄 (市立大宮西)	井上 敦史 (伊奈学園)	菅野 治虫 (蕨)	篠田 健志 (蕨)	杉山 栄樹 (秀明英光)	高橋 揺衣 (開智中高)	中嶋 宏幸 (浦和一女)	早川 周一 (大宮)
		吉野 新吾 (市立浦和南)							
北部支部	10名	池田 忍 (深谷商業)	石橋 桂一 (秩父)	小原 啓雅 (成徳深谷)	木村 篤史 (進修館)	小林 一平 (深谷第一)	近藤 毅 (熊谷女子)	坂本美佐子 (寄居城北)	土田 毅 (児玉白楊)
		細野 二郎 (滑川総合)	持田 泰 (秩父農工科)						

平成27年度 競技部 役割分担一覧表

*印は他部と兼務

係			常任委員	専門委員				役員生徒	
代表者会議	受付	男 子	土谷 徳男	渡辺 周一 今井 広行 小仁熊康行 小島 光正					
		女 子		染葉 幸枝 木幡 博久 清水 千聖 津久井未来					
	抽選	男子(団体)	池田 武 小島 貴裕	坂本 圭一 石橋 次雄 新井 義久 高山 智裕					
		女子(団体)		浅利 幸弘 清水 健晴 前田 美穂 鈴木 裕子					
		男女個人		(競技部責任抽選)					
	プログラム	男 子	渡辺 博英	新井三千夫 *梅澤 誠					
女 子		和田 光史 *小久保 聡							
本大会	式典	開閉会式	設楽 浩	関河 諒					
		司会進行	渡辺 博英	関根 龍一					
	試合	広報	報道関係	渡辺 秀樹					
			試合進行	渡辺 秀樹	正岡慶二郎 阿部 美萌 (各試合場審判主任)				
		審判割当	石井 浩三 上田 伸一 勝間 健	(審判委員会)					
			補助役員指導	石井 浩三 上田 伸一	藤森 祐一 後 雄士				
				試合審判用具	渡辺 秀樹	高木由美子 *斉藤 洋平			
			用具購入	渡辺 秀樹					
	検量	検 量	森田 智裕 渡辺 博英	金子 信昭 金子 章臣 永久 貴子 中村 彩香 (会場作成・復帰係)					各校生徒
			会場	入場指導	池田 武	新井 義久 内海 康博 林 信一 鎮目 浩市 土堂 遼平 小林 洋平 蛭沼浩一郎 山田 亘			
	駐車場整理	小島 貴裕							各校生徒
	救護	渡辺 秀樹							
	立入禁止区域設置	設楽 浩							
	会場作成復帰	ラインテープ指導	上田 伸一 設楽 浩 土谷 徳男	石橋 次雄 石綿 宏幸 恒川 渉 中里 寛 小野島 優 堀内 眞一 平林 満 深谷 登 萩原 健太 小野 友栄 鴨志田 修 松下 雄宏 古井 秀明 坂 真紀子 本郷 利枝 後藤 大雅					
			放送式典準備		阿部 美萌 高木由美子				
	清掃指導	観覧席 フロアー 1階通路・階段 2階通路・玄関 第1道場(柔道場) 第2道場(剣道場) 1階トイレ 2階トイレ 会議室 館 外	池田 武 石井 浩三 土谷 徳男 森田 智裕	各支部競技部専門委員					各校生徒
関東予選男子団体				4月25日	東部支部				
関東予選女子団体				4月26日	西部支部				
関東予選男女個人				5月2日	南部支部				
全国高校総体男女個人				5月29日	北部支部				
全国高校総体男子団体				6月14日	南部支部				
全国高校総体女子団体				6月15日	東部支部				
高校新人大会男子団体				11月23日	北部支部				
高校新人大会女子団体				11月24日	西部支部				
*埼玉県剣道大会についてはプログラム掲載									

平成27年度 第62回関東高等学校剣道大会県予選会要項

1. 日 時 平成27年4月25日(土) 男子団体決勝
 会場作成役員・補助役員集合(会場準備) 8:00
 選手入場・受付開始(顧問) 9:00
 審判員打ち合わせ 9:30
 受付終了 9:45
 開会式 10:00
 試合開始予定 10:20
 表彰・閉会式予定 17:00
 平成27年4月26日(日) 女子団体決勝
 会場作成役員・補助役員集合(会場準備) 8:30
 選手入場・受付開始(顧問) 9:00
 審判員打ち合わせ 9:30
 受付終了 9:45
 開会式 10:00
 試合開始予定 10:20
 表彰・閉会式予定 17:00
 平成27年5月2日(土) 男女個人決勝
 会場作成役員・補助役員集合(会場準備) 8:00
 選手入場・受付開始(顧問) 9:00
 審判員打ち合わせ 9:30
 受付終了 9:45
 開会式 10:00
 試合開始予定 10:20
 表彰・閉会式予定 17:00
2. 会場 埼玉県立武道館 Tel 048-777-2400
3. 試合方法 <団体戦> 男女ともにトーナメントとする。
 男女とも上位7校を関東大会(千葉県開催)の埼玉県代表とする。男女とも1~7位順位決定戦を行う。
 <個人戦> 男女ともにトーナメントとする。
 男女とも上位4名を関東大会(千葉県開催)の埼玉県代表とする。男女とも1~4位順位決定戦を行う。
 ※男女とも上位4名はインターハイ予選にシード選手として、無条件で出場できる。
 ※女子の1位選手は全日本都道府県対抗女子剣道大会の候補選手とする
4. 検 量 竹刀に記名(氏名・学校名)のないものは、検量を行わない
5. 試合規則 全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、並びに
 全国高体連剣道専門部申し合わせ事項による。
6. 試合時間 <団体戦> 4分・引き分け(準決勝、決勝は延長2分1回、
 順位決定戦においては延長を行わない)
 ※団体戦の勝敗が決している場合、延長戦は行わない。
 <個人戦> 4分。延長戦は勝敗の決するまで継続して行う。
7. 表 彰 1位~5位(団体・個人)
8. 参加制限 <団体戦> (男子)新人大会上位64校及び支部大会で出場権を獲得した
 下表の通り32校の計96校。

	東部	西部	南部	北部	計
男子	6	10	10	6	32

 (女子)新人大会上位64校及び支部大会に出場した学校全て。
 <個人戦> 下表のとおりとする。

	東部	西部	南部	北部	推薦	計
男子	32	40	44	28	1	145
女子	24	28	32	24	—	108
9. 抽 選 ※個人戦の抽選については、競技部が責任抽選する。
10. シード権 <団体戦> 前年度新人大会上位16校をシードする。
 <個人戦> 各支部上位4名をシードする。
11. 代表者会議 4月21日(火) 県立武道館 第二道場(剣道場)
 13:10 受付開始
 13:40 受付終了
 14:00 開会
12. その他 競技役割分担は前年度でお願いします。

平成27年度 関東高等学校剣道大会県予選会個人戦 実施方法および抽選要項

1. 実施方法

【支部大会】

- ・各学校より男女4名ずつ選手を出し、トーナメント方式で決勝戦まで実施する。
- ・試合時間は4分。延長戦は勝敗の決するまで継続して行う。
- ・男女とも各支部県大会出場者は下表のとおりとする。

(毎年出場者数は常任委員会で決定する)

	東部	西部	南部	北部	推薦	計
男子	32	40	44	28	1	145
女子	24	28	32	24	—	108

* 推薦とは前年度埼玉県剣道大会男子優勝者（全日本都道府県対抗男子出場者）である。

* 各支部大会上位4名を県大会時にシードとする。

尚、推薦1名を含む支部においてのシードの扱い方は常任委員会で決定されたとおりとする。

- ・平成26年度埼玉県剣道大会の上位16名の選手・国体候補選手は、平成27年度4月の各支部予選ではシードとする。
(シードの扱いは下位で対戦しないように考慮する)
- ・申し込みは所定の申し込み用紙により、各支部の代表者会議の際に提出する。
- ・選手変更届（剣道専門部要覧添付）は特別な事由のない限り許可しない。
- ・組み合わせ抽選は各支部に一任する。（県大会に準ずる）
- ・各支部の県競技部常任委員は、支部大会の結果を報告する。
(確認表を作成し、申し込み時の確認用とする)

【県大会】

- ・関東大会予選の代表者会議を4月21日（火）に実施する。その際、個人戦の各支部予選通過者のいる学校の顧問は、所定の申し込み用紙にて申し込む。
 - ・選手変更届は、いかなる場合においても許可しない。
 - ・抽選方法は、競技部による責任抽選とする。
- ☆全国大会個人予選では、関東大会個人予選のベスト16以内の選手をシードとする。

2. 抽選方法

- ① 関東大会に、同一校より最大限4名が出場できるように組み合わせる。
- ② シードの分配は、団体戦と同じ方法とする。（各支部の順位のみ考慮する）
- ③ 組み合わせ抽選は、競技部の責任抽選とする。

3. 抽選手順

- ① 各支部1位の選手の抽選（男子は推薦者に注意する）
 - ② 1位の選手と同じ学校の選手の分配
(2名の場合は決勝まで、3名の場合は準決勝まで対戦しないよう配慮する)
 - ③ 上記と同様に2位、3位選手の順で抽選および分配。
 - ④ シード選手がいなく、同一校より複数出場している選手の分配。
(2名の場合は決勝まで、3名の場合は準決勝まで対戦しないよう配慮する)
 - ⑤ 1校より1名出場している選手の分配。
 - ⑥ 4ブロックに振り分けられた選手の確認。（シード選手および人数等）
 - ⑦ 分配された選手の抽選。（各ブロック内）
- ※分配とは4ブロックに振り分けること。
(4ブロックに分ける抽選と、その中での抽選となる)

**平成27年度 第62回学校総合体育大会
兼全国高等学校総合体育大会県予選会要項**

1. 日 時

平成27年5月29日（金） 男女個人・決勝＜県立武道館＞	
会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	8：00
選手入場・受付開始（顧問）	9：00
審判打ち合わせ	9：30
受付終了	9：45
開会式	10：00
試合開始予定	10：20
表彰・閉会式予定	17：00

平成27年6月14日（日） 男子団体・決勝＜越谷市立総合体育館＞	
会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	8：30
選手入場・受付開始（顧問）	9：30
審判打ち合わせ	9：50
受付終了	10：00
開会式	10：20
試合開始予定	10：40
表彰・閉会式予定	17：30

平成27年6月15日（月） 女子団体・決勝＜越谷市立総合体育館＞	
会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	8：30
選手入場・受付開始（顧問）	9：30
審判打ち合わせ	9：50
受付終了	10：00
開会式	10：20
試合開始予定	10：40
表彰・閉会式予定	17：00

2. 会 場

埼玉県立武道館	（個人戦）	TEL048-777-2400
越谷市立総合体育館	（団体戦）	TEL048-964-4321

3. 試合方法

団体・個人戦（各校男女各2名）。ともにトーナメントとする。
 個人戦は全8試合場で男子の1回戦を行ってから、女子の1回戦を行う。
 男女とも団体戦優勝校・個人戦上位2名は全国大会（和歌山県）の
 埼玉県代表とする。

4. 検 量

竹刀に記名（氏名・学校名）のないものは、検量を行わない

5. 試合規則

全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、並びに
 全国高体連剣道専門部申し合わせ事項による。

6. 試合時間

団体戦は4分・引き分け
 準決勝・決勝は延長2分1回を行う。
 ※団体戦の勝敗が決している場合、延長戦は行わない。

個人戦は4分。延長は時間を区切らず勝敗の決するまで行う。

7. 表 彰

1位～3位 （碩山基金表彰＝個人戦1・2位トロフィー、3位楯）

8. 参加制限

個人戦については関東予選会ベスト4に入った選手は無条件で出場でき
 シード選手とする。

9. シード権

団体戦については関東予選会上位16校
 個人戦については関東予選会上位16名をシード選手とする。
 （個人戦は競技部による責任抽選を実施する）

10. 代表者会議

5月25日（月）県立武道館 第二道場（剣道場）
 13：10 受付開始
 13：40 受付終了
 14：00 開会

第 6 0 回 埼玉県剣道大会（高等学校の部）要項

1. 日 時 平成 2 7 年 1 1 月 7 日（土） 男女個人戦決勝
2. 会 場 埼玉県立武道館 TEL048-777-2400
3. 主 催 （公財）埼玉県剣道連盟 埼玉県高等学校体育連盟
4. 後 援 （財）全日本剣道連盟 埼玉県教育委員会 埼玉新聞社
5. 主 管 （公財）埼玉県高校剣道連盟
埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部
6. 試合区分 （1）男子の部 （2）女子の部
7. 参加資格及び人員 （1）公益財団法人 埼玉県剣道連盟高等学校支部会員であること
（2）各校 男子、女子各 2 名（1・2 年生が望ましい）
8. 試合規則 全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、並びに
全国高体連剣道専門部申し合わせ事項による。
9. 試合方法 各校男女各 2 名による個人トーナメント戦。
全試合場（8 試合場）で男子の 1 回戦を行ってから女子の 1 回戦を行う。
（出場選手数に応じて男子の 2 回戦の数試合を行う場合もある）
※男女とも上位 1 6 名を、次年度の支部大会個人戦のシード選手とする。
※男子の 1 位選手は全日本都道府県対抗剣道大会の候補選手とする。
10. 検 量 竹刀に記名（氏名・学校名）のないものは、検量を行わない
11. 試合時間 4 分 3 本勝負とし、勝敗の決しない場合は延長戦を勝敗の決するまで
継続して行う。
12. 表 彰 1 位～3 位 ベスト 8 は敢闘賞
13. 申し込み 所定の大会申込書に記入の上、各支部毎に郵送申込とする。
14. 抽 選 抽選は競技部が責任抽選する。
15. シード権 ①平成 2 7 年度全国高校総体県予選個人戦上位 1 6 名（1・2 年生）
②国体候補・強化選手（強化部報告）
③平成 2 7 年度関東大会県予選個人戦上位 1 6 名（1・2 年生）
16. 予定時間 8：00 役員・補助役員集合、準備
9：00 選手入場
9：15 応援生徒入場
9：20 受付開始（顧問）
9：30 審判打ち合わせ
9：50 受付終了
10：00 開会式・公開演武
10：40 試合開始（予定）
17：00 表彰・閉会式（予定）

※ 受付は必ず顧問が行う。（受付の際に個人戦の個票を提出する）

※ 別試合場で行われる男子一回戦の受付は、一回戦が行われる試合場で行う。

17. そ の 他 武道館の駐車場の利用は、役員・審判員に限ります。

※開・閉会式次第は別途配布のプログラム参照

平成27年度 第28回県民総合体育大会兼
第62回（女子第45回）埼玉県高等学校剣道新人大会要項

1. 日 時

平成27年11月23日（月） 男子団体決勝		
役員・補助役員集合（会場準備）		8：00
選手入場・受付開始（顧問）		9：00
審判打ち合わせ		9：30
受付終了		9：45
開会式	10：00	
試合開始予定	10：20	
表彰・閉会式予定	17：00	

平成27年11月24日（火） 女子団体決勝		
役員・補助役員集合（会場準備）		8：30
選手入場・受付開始（顧問）		9：00
審判打ち合わせ		9：30
受付終了		9：45
開会式	10：00	
試合開始予定	10：20	
表彰・閉会式予定	17：00	
 2. 会 場

埼玉県立武道館	Tel 048-777-2400
---------	------------------
 3. 試合方法

男女ともに団体戦トーナメント
 男女とも優勝校を全国選抜大会（春日井市）の埼玉県代表とする。
 男女とも上位64校は次年度の関東大会県予選会の出場権を得る。
 男女とも上位16校は次年度の関東大会県予選会のシード権を得る。
 4. 試合規則

全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、並びに
 全国高体連剣道専門部申し合わせ事項による。
 5. 試合時間

4分・引き分けとする。
 準決勝・決勝は延長2分1回を行う。
 ※団体戦の勝敗が決している場合、延長戦は行わない
 6. 検 量

竹刀に記名（氏名・学校名）のないものは、検量を行わない
 7. 表 彰

1位～3位 （体育協会表彰1位～3位）
 8. シード権

各支部大会の上位4校（計16校）
 ※シード校が1ブロックに東西南北に分かれるように抽選し、なおかつ
 各支部の1位と2位が決勝まで対戦しないように抽選する。
 9. その他

・女子更衣の場所、時間について代表者会議で説明します。指示に従ってください。
 10. 代表者会議

11月2日（月）	埼玉県立スポーツ総合センター	多目的室
	13：10	受付開始
	13：40	受付終了
	14：00	開会

埼玉県高等学校剣道専門部 大会申し合わせ事項

1. 武道館の利用について

- ①深夜・早朝（午前8時以前）の来館を禁止する。
- ②選手・応援の生徒は2階観客玄関を利用する。（それ以外は利用できない）
- ③各学校で靴袋や傘袋等を用意し、必ず袋に入れて管理する。
（そのまま館内に持ち込まない）
- ④ゴミはすべて持ち帰りとし、館内の美化・清掃に心がけお互いに気持ち良く利用する。
- ⑤応援は2階観覧席のみでおこなう。大会役員・引率教員・選手以外は1階に降りてこない。
- ⑥1F事務室付近には出入りしない。
- ⑦道場以外での練習は禁止する。
- ⑧外へは絶対裸足で出ない。また、2階剣道場以外での準備体操・素振は厳禁とする。
- ⑨武道館のスリッパは役員以外の利用はしない。
- ⑩キャスター付き防具袋は、館内ではキャスターを使用しない。
- ⑪飲食は、2F観覧席・選手ラウンジ・中庭のみとする。また、試合会場内には飲み物を持ち込まない。（中庭の渡りは土足禁止、石畳上は下足使用となる）
- ⑫武道館駐車場は大会役員以外の利用禁止とする。役員以外は水上公園の駐車場を利用。
- ⑬武道館敷地内は、喫煙所以外はすべて禁煙である。
- ⑭武道館利用規則を遵守すること。

2. 応援席、更衣について

- ①2F観覧席や通路に荷物等を置かない。（場所取りの禁止）
また、1校が多数を独占したりしないで、お互いに譲り合う。
- ②男子は2階観覧席で更衣をする。
- ③女子の更衣については剣道場を使用する。
（施設の利用状況によっては他の場所を使用する場合もある）

3. 盗難・忘れ物防止について

- ①更衣後の荷物・貴重品は整理して各校で管理する。
- ②貴重品ロッカーを必ず活用する。
- ③退館する際に忘れ物がないかどうか必ず確認する。
- ④持ち物には必ず記名しておく。

4. 申し込みについて

- ①各種申込書は、高体連剣道専門部のホームページ(<http://saitama.koutairenkendo.jp/>)の中にある申込書をダウンロードして使用する。（A4版）
- ②校長印のないものは受け付けない。
- ③人数不足（3・4名）の大会申込書、オーダー表は以下のように書く。
 - ・3名の場合→（先鋒、中堅、大将）
 - ・4名の場合→（先鋒、中堅、副将、大将）
- ④関東大会は、人数不足での出場も可能。ただし、全国大会には出場できない。

5. 受付、選手交代について

- ①受付は開会式前までに、顧問がオーダー表（団体戦）・個票（個人戦）を各試合場の補助役員に提出して行う。

◎オーダー表＝模造紙1/4（下図参照）

◎個票＝A 4 コピー用紙

← 79.0cm →					
学	先	次	中	副	大
校					
名	鋒	鋒	堅	将	将

↑ 27.5cm ↓

※
名
字
(学 校 名)

（注意）

個票提出の際は※印の欄に第1試合の試合場及び通し番号を記入する。

◎個人戦個票は剣道専門部のホームページよりダウンロードして使用する。

- ②選手と補欠の交代は、各試合場の審判主任に申し出る。交代した選手は以後出場できない。
- ③団体戦において人数不足のチーム（3、4名）で大会に出場する場合、3名の場合は先鋒・中堅・大将、4名の場合は先鋒・中堅・副将・大将とする。また、大会申し込み後に選手が怪我や急病のためやむなく大会に出場できなくなった場合は、欠場するポジションが不戦敗となる。

6. 選手変更・追加登録について

- ①大会申し込み後に、選手・補欠が怪我や急病のためやむなく大会に出場できなくなった場合に限り、申し込み時の人数を最大限として選手変更・追加登録ができる。
- ②選手変更は所定の選手変更届を提出する。校長印のないものは受け付けない。
高体連剣道専門部のホームページ (<http://saitama.koutairenkendo.jp/>) の中にある選手変更届をダウンロードして使用する。（A 4 版）
- ③選手変更届は大会当日、大会本部（競技部長）に提出する。委員長と競技部長の競技の上、大会本部（競技部長）から各試合場の審判主任に報告する。
- ④選手変更する場合、参加申込時の選手5名補欠3名に対し、新たな選手を入れる場合は、補欠を飛び越して選手と直接変更することはできない。
正選手を交代する場合、まず、補欠選手を正選手と交代し、変更選手を補欠に入れる。また、順位の変更は認めない。ただし、変更・追加する選手は申込時の補欠の人数分（最大限3名まで）とする。

7. 棄権連絡について

- ①大会申し込み後に棄権する場合は、必ず剣道専門部委員長に連絡を入れる。
（支部大会においては各支部委員長に連絡をする）
- ②当日やむを得ず棄権する場合は、大会本部（競技部長）に連絡する。
大会本部（競技部長）より各試合場審判主任に報告する。

8. 試合について

- ①竹刀は整備されたものを使用し、安全点検を励行する。また、竹刀は適正なものを使用する。（先革にテープが巻いてあるもの、つばの先に柄革が余っているもの、先が異常に細いものは使用できない。検量に合格していない竹刀や、異物が入っている竹刀を使

用した場合は、反則負けになる)

- ②サポーター等の使用は医療上必要と認める場合に限り、見苦しくない範囲で認める。

足底用サポーターは、皮・ゴムを使用しているものは不可、布は許可する

- ③名札（黒または濃紺地に白文字、学校名・氏名）を必ず着用する

※2枚重ねの場合は必ず2・3箇所縫いつける（安全ピンは不可）。なお、手書きの場合は消えないもので書くこととする。（できていない場合は出場不可）

- ④赤白目印は長さ70cm、幅5cmとする（極端に基準を越えないものは認める）

- ⑤面紐は、後ろに垂れる長さが40cm以内とする（長い場合はその場で切る）

- ⑥ストップウォッチ類の試合場への持込みを禁止する。

- ⑦円陣・胴突き・握手・声援・試合場での監督指示は禁止する。

- ⑧声援が多い場合は、各試合場の審判主任が監督または選手・応援団に注意する。

- ⑨会場内でのフラッシュ撮影は禁止する。また、1階でのビデオ撮影は危険を伴ったり、試合進行の妨げになるので禁止する。

（iPhone、スマートフォン等での動画撮影も1階では禁止とする。）

9. 勝敗（団体戦）について

- ①団体戦の勝敗は、まず勝ち数で決まる。

- ②勝ち数が同じ場合は、勝ち本数で決まる。

- ③勝ち本数が同じ場合は、任意の代表者による代表者戦を行う。

- ④代表者戦は4分1本勝負とし、勝敗の決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。

10. 人数不足のチームの試合方法について

- ①埼玉県高体連剣道専門部の試合規則として以下のように定める。

団体戦において3名で大会に出場する場合には、先鋒・中堅・大将に選手を、4名で出場の場合は先鋒・中堅・副将・大将に選手を配し、相手チームの先鋒より順次対戦する。3名のチームは相手の次鋒・副将に2本を与え不戦負けとし、4名のチームは相手の次鋒に2本を与え不戦負けとする。

また、大会申し込み後に、選手が怪我や急病のためやむなく大会に出場できなくなった場合は、欠場するポジションが不戦敗となる。

関東大会は人数不足のチーム（3・4名）でも出場は可能。

ただし、全国大会には人数不足のチームでの出場はできない。

- ②3・4人で出場するチームの中堅は、面を着けずに整列する。

- ③追加登録（上限3名まで）する場合は、大会本部（競技部長）に選手変更届を提出する。

11. 顧問（監督・コーチ等）の申し合わせ

- ①顧問（監督・コーチ等）の服装は、背広・ネクタイの着用を原則とする。

（剣道着・袴も可とする）

- ②顧問（引率責任者）は出場校の教諭とし、監督（コーチ）は出場校の教職員または学校長が特に認めた者とする。監督が出場校教諭である場合は、原則として引率者を兼ねる。

- ③試合場（監督席・次回選手席）に入れる者は、顧問（監督・コーチ等）1名と選手・定められた補欠だけで、他の者の入場は厳禁する

- ④監督席では時計の装着は厳禁する

12. 各大会時の男女の入場規制について

大会が土、日開催の場合は規制しない。ただし、平日開催の場合は当該学校長が認める限り入場を認める。

13. 各大会時の 1 階試合会場への入場規制について

1 階試合場への入場は、選手・顧問（監督・コーチ）・大会役員・補助役員のみとし、I D カードの使用を義務づけることとする。（競技本部で受付、配布・試合終了後返却）

注）顧問（引率責任者）、監督（コーチ）は出場校の教職員または学校長が特に認めた者であり、それ以外は入場を厳禁する。

14. 竹刀の検量について

竹刀の検量で基準に満たなかった竹刀は試合で使用できない。さらに、検量を行っていない竹刀や、不正な竹刀を試合で使用した場合は負けとし、相手に 2 本を与え、既得本数および既得権を認めない。更に以後の試合に出場できない。

ただし、団体トーナメント戦における補欠の出場は別に定めのない限り認める。

注）以下のような竹刀は検量に合格できません

- ①印が押せないような柄革が汚れているものや古いもの
- ②竹刀をテープで補修したものや、竹刀の合わせ等の不備なもの
- ③先革がすり減ったものや、破れて先芯が見えているもの
- ④弦が緩んでいるもの
- ⑤中結の位置が、剣先から全長の 1 / 4 以外のもの
- ⑥竹刀に記名（氏名・学校名等）のないもの
- ⑦以前の検量シールを貼ってあるもの

15. 竹刀の基準について（一刀の場合）

	性別	高校生（相当年齢の者も含む）
長さ	男女共通	1 1 7 センチメートル以下
重さ	男 性	4 8 0 グラム以上
	女 性	4 2 0 グラム以上
先皮先端部 太さ	男 性	2 6 ミリメートル以上
	女 性	2 5 ミリメートル以上

16. 部員不足による合同チームについて

- ①合同チームによる大会参加は県新人大会のみ出場を認める。次回参加につながるシード権・出場権は与えない。
- ②合同チームの編成は 2 名以下の登録部員数の学校である。その際は 3 校以下とする。
（最大登録選手 6 名）怪我や初心者等の理由で合同チームを編成することはできない。
- ③合同チームで試合に出場できる選手は 3 名とし、「先鋒・中堅・大将」とする。
- ④男女団体それぞれにおいて、別々の学校（同一支部）と編成することができる。
- ⑤合同チームの名称は、編成する学校の連名とする。
- ⑥合同チームで出場する場合の名札は自校名のものとする。
- ⑦合同チームの監督席には代表顧問 1 名とする。
- ⑧秋季支部新人大会時に各支部委員長に合同チーム編成申請書（様式 1）を提出する。
- ⑨剣道専門部競技部会で協議後、常任委員会で承認を得る。
参加が認められた場合は合同チーム大会申込書（HP よりダウンロードする）を
県新人大会代表者会議に提出する。
- ⑩平成 2 6 年度より認める。

公益財団法人 全国高等学校体育連盟剣道専門部 申し合わせ事項

(平成 25 年 5 月 3 日一部改訂)

下記の事項は、公式試合における高体連剣道専門部としての統一的な事項である。

特に全国大会においては、これを厳守することとする。

1 選手心得

- (1) 選手は気品のある態度で全力をあげて試合をする。
- (2) 竹刀は完全なものを使用する。着色を施したり、テープを巻いたりした竹刀は使用してはならない。
- (3) 選手の服装は、紺（黒）または白の剣道着・袴とする。なお、刺繍等により華美にならないこと。
- (4) 試合者の目印に校名などを大きく目立つように入れてはいけない。目印を着ける時は折り返した二枚の長さが揃うように着ける。
- (5) 貴重品の保管には十分留意する。
- (6) 滑り止めのための雑巾等は使用しない。

2 引率責任者、監督の資格について

引率責任者は出場校の教諭とし、監督は出場校の教職員または校長が特に認めた者とする。
ただし、監督が出場校教諭である場合は、原則として引率者を兼ねる。

3 監督心得

- (1) 監督の服装は、以下の通りとする。
 - (イ) 全国高校総体では、白シャツ、ズボン（白・灰色）または剣道着、袴（色は紺、黒、白いずれか）とする。
 - (ロ) 全国選抜大会では、背広、ネクタイ、または剣道着、袴（色は紺、黒、白のいずれか）とする。
- (2) 試合場に入ることができるのは、監督・選手・定められた補欠だけで、他の者の入場は厳禁する。

4 規則の運用および大会運営について

- (1) 試合はすべて一刀（一本の竹刀）にて行うものとする。二刀にての試合は認めない。
- (2) 全国大会（全国総体・全国選抜大会）での竹刀検量は、以下の要領で行う。
 - (イ) 監督の責任において検量本数を「竹刀検量申請書」により申請する。
 - (ロ) 事前に申請する竹刀の本数は選手一人当たり 3 本以内とする。
 - (ハ) 竹刀検量において規格外等により不合格となった竹刀を一時預かり、当該選手が所属する団体及び当該選手の試合が終了後返却する。
- (二) 大会期間中、破損等による追加の申請は破損した竹刀を持参のうえ「竹刀検量【追加】申請書」により申請する。
- (3) 鐳競り合いについて
 - (イ) 試合者は、正しい鐳競り合いの攻防から 10 秒以内に技を出すか、または、相互に間合いを切って鐳競り合いを解消しなければならない。
正しい鐳競り合いとして以下に示す内容を審判の判定基準とし、この基準からはず

れる場合は不当な鰐競り合いの反則とする。

- ① 手元が上った拳競り合いにならないようにし、手元を下げて相互に鰐元と鰐元を合わせて竹刀を交差させる。(このことを試合者同士が相互に努力して行うことを前提とする。)
 - ② 鰐元で竹刀の表鍔を交差させる。(竹刀は右傾前方に傾ける。)
 - ③ 瞬間的に裏交差はあり得るが、直後に表鍔側での交差に直さなければならない。
(先に裏交差した者や右拳を体の中心より左側において鰐競り合いをする者は反則の対象となる。)
 - ④ 鰐競り合いは、相互に鰐元で圧力をかけ合っている状態とする。(相手の力を故意に吸収して体を密着させる行為は反則の対象となる。)
- (ロ) 審判員は、不当な鰐競り合いの「反則」を厳密に見極めるとともに、正しい鰐競り合いの攻防が10秒程度続いた場合、時間空費の「反則」または「分かれ」を見極める。
ただし、安易に「分かれ」をかけない。
- (ハ) 運用の詳細については、別紙「鰐競り合い改善の補足事項(平成22年 5月3日決定)」による。
- (4) 不正用具を使用した時の罰則は試合規則17条・19条の通りであるが、個人戦と団体戦を含めて行う大会においては、両方にまたがって適用する。
- (イ) 団体・個人戦における不正用具使用者は、以後の試合に出場できない。団体トーナメント戦における補欠の出場は別に定めのない限り認める。
- (ロ) 団体・個人戦ともにリーグ戦にあっては、不正用具使用者の総ての試合を負けとし、補欠の出場は認めない。
- (5) 団体戦において、補欠と交代した選手の再出場は認めない。(大会が2日以上の場合は全期間にわたって適用する。)但し、全国選抜大会においてはこの限りではない。
- (6) 全国大会団体戦の選手変更は以下の方法、条件内で認める。
- (イ) 監督会議前までに所定の届けを大会事務局へ提出する。
- (ロ) 変更する選手の人数は原則2名以内とする。
- (ハ) 全国総体で、選手変更する場合、先鋒から大将までのオーダーは変えられない。
- (ニ) 全国総体では、参加申込時の選手5名補欠2名に対し、新たな選手を入れる場合は補欠を飛び越して選手と直接変更することはできない。
- (7) 個人戦の時、自分の都道府県の生徒が出た時は審判員を交代する。また関係のあるチームの審判も行わないことが望ましい。
- (8) 予選リーグにおける引き分けの際は、その都度勝負を決定せずにそのリーグ終了後下記の順で勝敗を決め、また代表者戦を行う。
- (イ) チームの勝ち点による。(勝ち1点、分0.5点)
- (ロ) 勝者数による
- (ハ) 取得本数による
- (ニ) 上記(イ)から(ハ)までで3チームの順位が決定しない場合は、代表者戦によるリーグ順位決定戦を以下の要領で行い当該リーグの1位を決定する。
- ① 代表者戦の対戦順は予選リーグ戦時の対戦順とする。ただし、1位チームが決定した後の試合は行わないものとする。
 - ② 代表選手は選手の安全面等に配慮し、代表者戦ごとに変更することを可とする。
 - ③ 礼法については、全国総体では代表者戦1巡目のみ団体戦の5人を整列させて行い、全国選抜大会では代表者戦1巡目のみ選手全員をプログラム登載順

に整列させて行う。2巡目に入った場合は代表選手のための礼とする。

④ 審判は予選リーグ戦時における当該の審判員が行う。

(9) 代表者戦の選手は、全国総体では当該の試合に出場した先鋒から大将までの5人の選手から選出し、全国選抜大会では大会登録している選手から選出する。代表者戦は一本勝負とする。

(10) 団体試合・トーナメント戦において、チームの勝敗が決定した後の試合は延長戦を行わない。

(11) 延長戦について

(イ) 全国総体の個人戦において、試合時間内で勝敗が決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。ただし、延長戦の試合時間は勝敗が決するまで継続する。

(ロ) 全国総体の団体戦においては、代表者戦に限り延長戦の試合時間は勝敗が決するまで継続する。

(ハ) 全国総体の団体戦における代表者戦以外の延長戦は、試合時間2分とし勝敗の決しない場合は引き分けとする。

(ニ) 全国選抜大会においては、団体戦試合時間5分、勝敗の決しない場合は引き分けとする。

ただし、代表者戦では試合時間内で勝敗が決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。この場合の延長戦は勝敗が決するまで試合時間は継続する。

付記：(1) 勝敗が決するまで延長戦を継続する場合、主審は試合者の疲労度等を観察し、休息等の措置が必要と判断したら、「止め」を宣告し深呼吸等の措置をとることができるものとする。

(2) 各都道府県の大会における「延長戦の試合時間」については全国大会に準ずる。

(12) 会場に各種旗(校旗、部旗、それに類するもの)の掲揚はしない。

5 事故の処理

選手が負傷した場合は、医師及び監督の意見を聞いた上、審判主任と審判員の4名が審判長の了解を得て試合継続の可否について決定する。試合の継続が決定した後、原則として5分以内に試合を再開する。

6 大会参加資格について

(1) (公財)全国高等学校体育連盟の定める「全国高校総体開催基準要項の大会参加資格」による。

(2) (公財)全国高体連剣道専門部の定める「外国人留学生の出場枠」(下記)による。

① 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。

② 在籍校が、各都道府県高体連剣道専門部に加盟していること。

③ 年齢は平成8年4月2日以降に生まれた者とする。ただし出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回に限る。

④ 短期留学は除く。

⑤ 上記①から④の条件を総て満たしている者に限り、以下の出場枠で参加を認める。

団体戦・・・補欠を含めた7名中の2名以内の出場枠とする。

個人戦・・・参加制限をしない。

7 試合放棄に対する措置について

全国高校総体、全国選抜大会において試合放棄が行われた場合、原則として以下の措置をとる。

試合放棄とは事故や負傷などによる棄権ではなく、運営や判定に対する不満により、試合を一方的に放棄した場合をいう。

(1) 試合放棄の事実確認及び事情聴取

審判長または審判主任は、監督及び選手に対して試合放棄の事実を直接確認し、その事情聴取にあたる。

(2) 競技上の取り扱い

剣道試合・審判規則第31条（棄権）、細則28条にのっとり以下の通り処理する。

- ① 試合を放棄した者は負けとし、その後試合に出場することができない。
- ② 個人戦においては、相手に2本を与えて負けとする。既得本数は認めない。
- ③ 団体戦においては、相手チームに5勝10本を与えて負けとし、既得本数は認めない。
（リーグ戦においてはそのリーグすべての試合を、相手チームに5勝10本を与えて負けとし、既得本数、既得権は認めない。）

補足：団体戦においては、チームとして試合放棄した場合とチーム内の1選手が試合放棄した場合があり得るが、ともに上記③のとおり処置する。

(3) 試合放棄した個人または団体（監督も含め）に対する事後の指導措置

（公財）全国高体連剣道専門部長は、副部長・委員長と協議し当該者に対し指導を講ずる。その結果を全国専門委員会に報告する。

付記：各都道府県の大会における試合放棄は、各都道府県高体連及び剣道専門部に一任する。その結果を（公財）全国高体連剣道専門部長に報告する。

関東高体連剣道専門部 申し合わせ事項

平成15年2月6日

平成22年5月3日一部改正

関東高体連剣道専門部申し合わせ事項は、（公財）全国高体連剣道専門部申し合わせ事項に準ずる。但し、下記の事項は、関東大会における関東高体連専門部としての申し合わせ事項である。

1 監督心得

- （1）監督の服装は、審判員または選手の服装に準ずる。

2 競技運営

- （1）試合の進行が滞り競技運営に支障をきたす場合には、各試合場の審判主任の判断で、監督が不在であっても試合を行うことができる。
但し、これについては、試合前の監督会議において、あらかじめ了承を得るものとする。

以上

埼玉県高体連参加資格

- (1) 埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で当該大会要項の参加資格を有する者。
- (2) ア 年令は平成8年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は、一回限りとする。
イ 特例として、上記アに定める年令制限については、中国等帰国生徒については適用しない。
- (3) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。ただし、全日制・定時制Ⅰ部の混成チームとして認められた競技はこの限りではない。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。但し一家転住等やむを得ない場合は高体連会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (6) 全国高等学校総合体育大会開催基準要項の参加資格の(9)の特例により参加資格を得たものが出場できる大会は次のとおりとする。
ア 学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会県予選会
イ 県民総合体育大会兼高等学校新人大会県大会および支部予選会
ウ 関東高等学校体育大会および県予選会・支部予選会
- (7) 関東高等学校体育大会は全国高等学校総合体育大会に準じて、全国高等学校総合体育大会の開催基準要項の参加資格の(9)の特例により参加資格を得たものが出場できる。

* (9) の特例

全国高等学校総合体育大会開催基準要項(9)参加資格の特例「大会参加資格の別途に定める規定」のことをさす。

平成27年度 強化部行事について

1. 県強化錬成会について

- ・平成28年2月11日（木） 於：県立武道館
- ・他県チームを招いて強化練習 対象：県新人大会上位校および国体候補選手

2. 第70回国体選手強化選考会について

- ・平成27年5月10日（日） 於：伊奈学園総合高等学校
- 〃 6月27日（土） 於：県立武道館
- ・試合や試合内容、大会実績や強化練習での内容等を総合的に判断し選考する。
- ・内定制…27年度関東大会個人ベスト4以上（候補選手に限る）
27年度関東県予選会個人2位以上かつインハイ県予選会個人2位以上
- ・最終選手決定、発表 6月27日（土）

3. 第70回国体候補選手の資格条件について

- ・26年度国体候補者 最終選考(6月)出場者
- ・ 〃 関東大会県予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ 〃 全国大会予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ 〃 全国大会予選会団体戦 男女各上位4校より強化部推薦として若干名
- ・ 〃 埼玉県剣道大会 男女各上位8名
- ・ 〃 県新人大会 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・27年度関東大会県予選会団体戦 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・ 〃 関東大会県予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ 〃 全国大会予選会個人戦 男女各上位4名
- ・強化部特別推薦 若干名

4. 第71回国体候補選手の資格条件について

- ・27年度国体候補者 最終選考(6月)出場者
- ・ 〃 関東大会県予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ 〃 全国大会予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ 〃 全国大会予選会団体戦 男女各上位4校より強化部推薦として若干名
- ・ 〃 埼玉県剣道大会 男女各上位8名
- ・ 〃 県新人大会 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・28年度関東大会県予選会団体戦 男女各上位8校より強化部推薦として若干名
- ・ 〃 関東大会県予選会個人戦 男女各上位8名
- ・ 〃 全国大会予選会個人戦 男女各上位4名
- ・強化部特別推薦 若干名

5. 第71回国体強化練習会・中高合同強化合宿について

- ・平成28年1月23日（土） 於：(未定)
- 〃 2月27日（土）～28日（日） 於：城北埼玉高等学校（1泊2日）
- 〃 3月19日（土） 於：(未定)

平成 27 年度指導普及部行事（審査・講習）について

1. 審査予定

1 級・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 月 28 日（日）、10 月 25 日（日）
初段～三段・・・・・・・・・・・・ 8 月 17 日（月）、1 月 11 日（月）

◎高校剣道連盟主催の審査会においては、
合格した場合の登録料は、当日現金で支払って頂くことになります。ご注意ください。

2. 講習予定

指導者講習会（教員対象）・・・・・・・・ 8 月 20 日（木）
初心者講習会（生徒対象・講習および試合）・・・・ 12 月 13 日（日）

◎指導者講習会の派遣文書は後日配布します。

3. その他

A：再受審者の手続きについて

実技審査に合格した後、形および学科審査により不合格となった生徒は、形および学科のみを再受審できます。申込個票に必要事項を記入し、審査料を添えて申し込んでください。

再審査料は初段 500 円、二段 700 円、三段 1000 円です。

B：前段を他の都道府県で取得した生徒について

前段を他の都道府県で取得した生徒は、改めて埼玉県剣道連盟への加入が必要となります（未加入の場合は、昇段審査を受審できません）。

必ず下記の手続きを行ってください。

①加入方法 下記の三点を揃えて顧問が審査の係に提出する。

- a 入会申込書
- b 入会登録料 1500 円
- c 前段の証書のコピー

②受付期間 平成 27 年 5 月 29 日（全国大会県予選会個人）・
6 月 14 日（全国大会県予選会男子団体）の 2 日間

③受付場所 大会会場
（5 月 29 日は埼玉県立武道館、6 月 14 日は越谷市立総合体育館）

④受領品 剣道手帳

☆その他不明の点がありましたら、児玉白楊高校 土田 毅 までご連絡ください。
(TEL 0495-72-1566)

高校剣道連盟 一級審査会要項

平成27年度 第1回

- 1 日 時 平成27年 6月28日(日) 9:00開場
(10時講習・11時30分審査・13時30分終了予定)
- 2 場 所 県立スポーツ総合センター 2階多目的室
(埼玉県立武道館の北側の建物です。)
- 3 受 付 9:00～9:30 (9:30受付終了)
- 4 持ち物 防具・木刀・筆記用具
- 5 費 用 審査料 1,000円
入会金(埼剣連) 1,500円 合 計 4,000円
登録料 1,500円
- 6 受審内容 木刀による基本稽古法(基本9まで)および日本剣道形(3本目まで)
学校にてしっかり稽古すること。
実 技(特に切り返し) 学校にてしっかり稽古すること。
- 7 申し込み 当日申し込み。申込書は不必要です。
- 8 その他 6月28日審査合格者に限り、審査終了後すぐに8月17日の段位審査会での初段審査の申し込みが可能ですので、希望者は初段審査料(2,500円)を用意して下さい。

平成27年度 第2回

- 1 日 時 平成27年10月25日(日) 9:00開場
(10時講習・11時30分審査・13時30分終了予定)
- 2 場 所 県立スポーツ総合センター 2階多目的室
(埼玉県立武道館の北側の建物です。)
- 3 受 付 9:00～9:30 (9:30受付終了)
- 4 持ち物 防具・木刀・筆記用具
- 5 費 用 審査料 1,000円
入会金(埼剣連) 1,500円 合 計 4,000円
登録料 1,500円
- 6 受審内容 木刀による基本稽古法(基本9まで)および日本剣道形(3本目まで)
学校にてしっかり稽古すること。
実 技(特に切り返し) 学校にてしっかり稽古すること。
- 7 申し込み 当日申し込み。申込書は不必要です。

◎ 上記に関して不明な点がございましたら、児玉白楊高等学校 土田 までご連絡下さい。

TEL 0495-72-1566

埼剣連第 446号
平成27年2月24日
(財) 埼玉県剣道連盟会長 野澤 治雄
同 高校剣道連盟代表 坂井 順司

高校剣道段位審査会要項

- 1 日時 平成27年8月17日(月) 8:30開場
- 2 場所 埼玉県立武道館(上尾)
- 3 受付 8:30~9:00(9:00受付終了)
- 4 費用

	初 段	二 段	三 段
審 査 料	2500円	3000円	4500円
登 録 料	5000円	7000円	10000円

◎登録料は、当日現金で支払って頂きます。

5 受審資格

- ・高体連関係者のみ(埼玉県高校剣道連盟の会員登録をしている者)
 - ・初段は、一級取得後30日を経過した者(都道府県はどこでも可)
 - ・二段は、初段取得後1年を経過した者(〃)
 - ・三段は、二段取得後2年を経過した者(〃)
- (二、三段受審者の取得経過年数は、同月であれば日数不足は受審可能)

6 申し込み方法

- (1) ①申込個票、②学校団体申込書、③審査料を揃えて提出する。

・個票は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードしてお使いください。

なお、記入例は別紙の通りです。男女で用紙が異なるので注意してください。

- ・学校団体申込書は、剣道専門部要覧からコピーをして使用してください。また、個票の枚数と学校団体申込書に記載されている人数が一致するように確認してください。

- (2) 全国大会予選会(5月29日個人・6月14日男子団体)の午前中に、会場の指定された場所で、各学校の顧問の先生が申し込んでください。

(申込後の審査料の返金は原則として致しません)

- ・大会に参加しない学校については、現金書留にて児玉白楊高校・土田まで6月11日(木)必着で申し込んで下さい。
- ・6月28日の1級審査合格者に限り、その時点での初段の申込は受け付けます。

7. 学科問題

- ・解答用紙は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードする。

なお問題は解答用紙に記載してある。各段ごとに別の用紙になっているので注意。

- ・指定用紙の氏名・性別の欄は必ず記入しておき、受審番号だけは審査当日に指示された番号を記入する。

- ・解答は鉛筆・シャープペンシルで書き、解答用紙一枚に収める。ボールペン不可。

- ・問題の番号を明記し、問題と問題の間は一行空ける。問題文は書かなくてよい。

- ・指定用紙以外での解答、及び定められた問題以外の解答は受け付けない。

8. 過去の段審査会(個票の現段位受領年月日記入時の参考にしてください)

平成22年 1月11日(高校)、2月14日(四地区)、6月13日(四地区)、8月18日(高校)、10月17日(四地区)
平成23年 1月10日(高校)、2月13日(四地区)、6月12日(四地区)、8月17日(高校) 10月16日(四地区)
平成24年 1月9日(高校)、2月12日(四地区)、6月10日(四地区)、8月20日(高校)、10月21日(四地区)
平成25年 1月14日(高校)、2月10日(四地区)、6月9・16日(四地区)、
8月19日(高校)、10月19日(四地区)
平成26年 1月13日(高校)、2月9・15日(四地区)、6月8・15日(四地区)、8月18日(高校)、

※不明な点がございましたら、児玉白楊高校 土田(Tel0495・72・1566)までご連絡下さい。

高校剣道段位審査会要項

1. 日時 平成28年1月11日(月) 8:30開場
2. 場所 埼玉県立武道館(上尾) 第2道場(剣道場)にて
3. 受付 8:30~9:00 (9:00受付終了)
4. 費用

	初 段	二 段	三 段
審 査 料	2500円	3000円	4500円
登 録 料	5000円	7000円	10000円

◎登録料は、当日現金で支払って頂きます。

5. 受審資格

- ・高体連関係者のみ(埼玉県高校剣道連盟の会員登録をしている者)
 - ・初段は、一級取得後30日を経過した者(都道府県はどこでも可)
 - ・二段は、初段取得後1年を経過した者(〃)
 - ・三段は、二段取得後2年を経過した者(〃)
- (二、三段受審者の取得経過年数は、同月であれば日数不足は受審可能)

6. 申し込み方法

- (1) ①申込個票、②学校団体申込書、③審査料を揃えて提出する。

・個票は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードしてお使いください。

なお、記入例は別紙の通りです。男女で用紙が異なるので注意してください。

- ・学校団体申込書は、剣道専門部要覧からコピーをして使用してください。また、個票の枚数と学校団体申込書に記載されている人数が一致するように確認してください。

- (2) 新人戦(11月23日男子団体・24日女子団体)の午前中に、会場の指定された場所で、各学校の顧問の先生が申し込んでください。

(申込後の審査料の返金は原則として致しません)

- ・大会に参加しない学校については、現金書留にて児玉白楊高校・土田まで11月19日(木) 必着で申し込んで下さい。

7. 学科問題

- ・解答用紙は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードする。

なお問題は解答用紙に記載してある。各段ごとに別の用紙になっているので注意。

- ・指定用紙の氏名・性別の欄は必ず記入しておき、受審番号だけは審査当日に指示された番号を記入する。

- ・解答は鉛筆・シャープペンシルで書き、解答用紙一枚に収める。ボールペン不可。

- ・問題の番号を明記し、問題と問題の間は一行空ける。問題文は書かなくてよい。

- ・指定用紙以外での解答、及び定められた問題以外の解答は受け付けない。

8. 過去の段審査会(個票の現段位受領年月日記入時の参考にしてください)

平成22年 1月11日(高校)、2月14日(四地区)、6月13日(四地区)、8月18日(高校)、10月17日(四地区)

平成23年 1月10日(高校)、2月13日(四地区)、6月12日(四地区)、8月17日(高校)、10月16日(四地区)

平成24年 1月9日(高校)、2月12日(四地区)、6月10日(四地区)、8月20日(高校)、10月21日(四地区)

平成25年 1月14日(高校)、2月10日(四地区)、6月9・16日(四地区)、

8月19日(高校)、10月20日(四地区)

平成26年 1月13日(高校)、2月9・15日(四地区)、6月8・15日(四地区)、

8月18日(高校)、10月19日(四地区)

平成27年 1月12日(高校)

※不明な点がございましたら、児玉白楊高校 土田(Tel0495・72・1566)までご連絡下さい。

剣道
 居合道 杖道 審査会申込書

加盟団体No		加盟団体名		申込日 平成 年 月 日								
38		高校										
受審項目を○で囲んでください			審査会場		県立武道館			審査日時		平成 年 月 日		1日目 2日目
初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審		実技合格月日
									形		学科	
全剣連番号			現段級位受領年月日			現段位登録申請県名			錬士受領年月日			
			昭 平 年 月 日									
氏 名			旧 姓		性別	生 年 月 日			年 齢			
フリガナ					男	昭 年 月 日 平						
氏名												
〒		住 所						電 話 番 号				
職業番号を○で囲んでください												
1 中学生		2 高校生・大学生・専門学校等		3 警察官		4 自衛官						
5 教 員		6 公務員		7 会社員		8 自営業						
9 農林水産業		10 主 婦		11 その他		12 無 職						
学校名				学年		下部団体名						

学校名、学年欄は中学生・高校生・大学生・専門学校生のみ記入して下さい。

受審番号		----- キリトリ -----										
		加盟団体控え(高校剣道連盟・男子)										
		申込日 平成 年 月 日										
フリガナ				審査日時 平成 年 月 日								
氏名				審査会場 県立武道館								
受審項目を○で囲んでください		初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審
												形 学科
〒		住 所						電 話 番 号				
学校名				学年		下部団体名						

剣道
 居合道 杖道 審査会申込書

加盟団体No		加盟団体名		申込日 平成 年 月 日									
38		高校											
受審項目を○で囲んでください			審査会場		県立武道館			審査日時		平成 年 月 日			1日目 2日目
初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審		実技合格月日	
											形	学科	
全剣連番号			現段級位受領年月日			現段位登録申請県名			錬士受領年月日				
			昭 年 月 日										
氏 名			旧 姓		性別		生 年 月 日			年 齢			
フリガナ					男		昭						
氏名					女		年 月 日						
〒			住 所						電 話 番 号				

職業番号を○で囲んでください

1 中学生		2 高校生・大学生・専門学校等		3 警察官		4 自衛官	
5 教 員		6 公務員		7 会社員		8 自営業	
9 農林水産業		10 主 婦		11 その他		12 無 職	
学校名				学年		下部団体名	

学校名、学年欄は中学生・高校生・大学生・専門学校生のみ記入して下さい。

キリトリ

受審番号													
		加盟団体控え(高校剣道連盟・女子)											
		申込日 平成 年 月 日											
フリガナ				審査日時 平成 年 月 日									
氏名				審査会場 県立武道館									
受審項目を○で囲んでください		初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審	
												形	学科
〒		住 所						電 話 番 号					
学校名				学年				下部団体名					

<昇段審査申込書の記入例>

剣道 居合道 杖道 審査会申込書

加盟団体N○		加盟団体名		申込日 平成○年 ○月 ○日	
38		高校			
受審項目を○で囲んでください		審査会場		審査日時	
		県立武道館		平成 ○年○月○日 1日目 2日目	
初	二	三	四	五	六
全剣連番号		現段級位受領年月日		現段位登録申請県名	
1111111		昭○年 ○月○日		埼玉県	
氏 名		旧 姓		性別	
刀がナ ダン ノボル				男	
氏名 昇 段				女	
〒		住 所		電 話 番 号	
〇〇〇-〇〇〇〇		埼玉県〇〇市〇〇 〇〇-〇〇-〇〇			
職業番号を○で囲んでください					
1 中学生	2 高校生・大学生・専門学校等	3 警察官	4 自衛官		
5 教 員	6 公務員	7 会社員	8 自営業		
9 農林水産業	10 主婦	11 その他	12 無 職		
学校名		学年		下部団体名	
〇〇高校		〇年			

学校名、学年欄は中学生・高校生・大学生・専門学校生のみ記入して下さい。

申込日、審査日時を記入し、受審項目(初・二・三)に○をつけてください。
 なお再審(学科・形)受審の場合は、再審を希望する内容(形または学科)に丸をつけ、実技合格月日(平成○年○月○日)を記入してください。

二、三段受審希望者は全剣連番号を忘れずに記入して下さい。
 (初段受審者は記入不要です)
 現段位受領年月日(初段受審者は1級の合格した日)および
 現段位登録申請県名(〇〇県)を記入してください。
 ※前段位を他県で取得した方は、埼玉県剣道連盟への入会申し込み
 の手続きが必要になります。

郵便番号・住所・電話番号を記入してください。
 また、職業番号(高校生は2、教員は5)に丸をつけ、高校名および
 学年を記入してください。

受審番号		キリトリ	
加盟団体控え(高校剣道連盟・男子)		申込日 平成○年 ○月 ○日	
刀がナ ダン ノボル		審査日時	
		平成 ○年 ○月 ○日	
氏名 昇 段		審査会場	
		県立武道館	
受審項目を○で囲んでください		審査日時	
		平成 ○年 ○月 ○日	
初	二	三	四
〒		住 所	
〇〇〇-〇〇〇〇		埼玉県〇〇市〇〇 〇〇-〇〇-〇〇	
学校名		下部団体名	
〇〇高校			

申込書に記載した内容と同じ内容を記入してください。
 女子は女子用のものを使用してください。

受審番号欄には記入しないで下さい。

<注意>

- ・この申込書は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードできます。
- ・この申し込み書は高校剣道連盟対象の審査専用の申込書です。男女で様式が異なります。お気をつけ下さい。

埼 剣 連 第 4 4 8 号
平成 2 7 年 2 月 2 4 日

学校長 様
剣道部顧問 様

高体連剣道専門部指導普及部

平成 2 7 年度 初心者講習会（講習および試合）要項

時下、貴校剣道部におかれましては益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、普段試合に出場できないことが多い、高校から剣道を始めた生徒を対象に、講習と試合の機会を設けるため、以下のような講習会を実施いたします。

年末の折御多忙とは存じますが、ぜひ御参加いただきますよう、御案内申し上げます。

記

趣旨 高校から始めた生徒たちに（同レベルの相手との）試合の機会を作るとともに、参加者同士の親交を深めること

日時 平成 2 7 年 1 2 月 1 3 日（日） 8：00 役員集合 8：30 開場 9：30 開会式
※ 9：00 選手集合完了（この時刻を過ぎたら受付を終了します）

場所 埼玉県立武道館 第 2 道場（剣道場） TEL048-777-2400

参加資格 高校剣道連盟に加入している生徒で、今年度から剣道を始めた者
※昨年度、本講習会に参加した生徒は受講できません。

内容 実技講習と個人戦（予選リーグおよび決勝トーナメント）とする
実技講習 繰り返し及び基本技（面・小手面・面抜き胴）についての講習を行い、あわせて予選リーグの判定基準について確認する。
予選リーグ 繰り返し＋基本技 勝敗は判定で行う
決勝トーナメント 3 分 3 本勝負。勝敗の決しない場合は時間を区切らず 1 本勝負。

講習費 無料

申込み 県新人戦（11／23，24）の午前中に、昇段審査受付にて行う。

☆別紙参加申込用紙に必要事項を記入し、提出してください。なお、県新人戦に参加しない

学校については、児玉白楊高校・土田まで 11 月 19 日（木）必着で申し込んで下さい。（fax 可）

その他 審判員の弁当は用意いたします。

当日の事故等につきましては、責任を負いかねますので、ご了承ください。

貴重品の管理は、各校でしっかり行ってください。ゴミは各校で持ち帰ってください。

不明の点は、担当までご連絡ください。

担当 埼玉県立児玉白楊高等学校 土田 毅

埼玉県本庄市児玉町金屋 9 8 0

電話 0 4 9 5 - 7 2 - 1 5 6 6

FAX 0 4 9 5 - 7 3 - 1 0 1 1

平成27年度 初心者講習会（講習および試合）参加申込用紙

学校名 _____

所在地 〒 _____

学校電話番号 _____ fax 番号 _____

顧問名 _____

☆以下は個表になります。この部分を切り離して対戦表を作成しますので、枠いっぱい大きく、
きれいな字体で記入してください。なお、性別は該当するものに丸印をお付けください。

	氏 名	高 校 名	学年・性別
			年 男 ・ 女

	氏 名	高 校 名	学年・性別
			年 男 ・ 女

	氏 名	高 校 名	学年・性別
			年 男 ・ 女

	氏 名	高 校 名	学年・性別
			年 男 ・ 女

	氏 名	高 校 名	学年・性別
			年 男 ・ 女

平成27年度 指導普及部役割分担

係		常任委員			専門委員		
総務・会計		土田 毅	松井 俊之	持田 泰			
申し込み受付		土田 毅	板垣 裕一	田中 隆宏	會田 誠	岩田 靖史	坂本 美佐子
					阿部 康雄	小原 啓雅	戸松 遥美
					石橋 桂一	金子 久恵	内藤 泉
					井上 敦史	後閑 理江	中嶋 俊幸
昇段審査	登録・名簿作成	土田 毅	板垣 裕一		高橋 香	菅野 治虫	篠田 健志
	事前準備	土田 毅	板垣 裕一	細野 二郎	石井 智	関谷 正文	
	証書配布	土田 毅	板垣 裕一		早川 周一		
1級審査	事前準備	土田 毅	持田 泰	田中 隆宏	井上 敦史	藤沼 英博	
指導者講習会	事前準備	土田 毅	杉山 栄樹		木村 篤史	小原 啓雅	小林 一平
初心者講習会	組み合わせ作成	土田 毅	松井 俊之		近藤 毅	池田 忍	
	事前準備	土田 毅	松井 俊之	細野 二郎	高橋 揺衣		
稽古会・厚生		土田 毅	松井 俊之	持田 泰	北村 和男	吉野 新吾	岡崎 晴夫
		杉山 栄樹	田中 隆宏	細野 二郎	浅子 昇		

入 会 申 込 書

私は、貴連盟に入会したいので、入会金等及び段位等受有証明書（証明の写し）を添えて申し込みます。

住 所

電 話

フリガナ

氏 名

印

生年月日

現（前）所属剣道連盟

都道府県 剣道連盟

学生・職業・勤務先

平成 年 月 日

公益財団法人 埼玉県剣道連盟

同 高校剣道連盟代表 様

附記事項

	称 号 受 領 年 月 日	段 位 受 領 年 月 日	受領 都（…区） 道府県 剣道連盟
剣 道	士 年 月 日	段 年 月 日	称号 段位
居合道	士 年 月 日	段 年 月 日	称号 段位

登 録 申 請 書

上記の者を本連盟の会員として入会を認めたので、貴連盟に入会登録料を添えて登録を申請いたします。

平成 年 月 日

公益財団法人 埼玉県剣道連盟

同 高校剣道連盟代表

公益財団法人 埼玉県剣道連盟会長 様

高校剣道連盟会費について

- 1 登録は、剣道部顧問及び、部員全員が行う。会費納入のないものは、高校剣道連盟の段級審査会の受験資格がありません。
- 2 登録用紙に男子、女子の順で行をあげずに必要事項を記入する。
- 3 登録用紙の提出は、ホームページから書式をダウンロードし、電子データは児玉白楊高校土田先生へ電子メールの添付ファイルにて送信してください。詳細は次ページをご覧ください。
- 4 郵便振替払込金受領証のコピーを会費納入書裏面中央に貼付する。
- 5 追加登録をする場合には、最初の登録時と同様に行ってください。追加登録者の必要事項を記入し、電子メールで送信してください。会費納入書を松伏高校橋本まで郵送してください。その後の追加登録も同様にして下さい。

高校剣道連盟会費納入方法について

- 1 会費は1人900円。剣道部顧問及び、部員全員が納入する。
- 2 会費納入方法
 - 1) 高校剣道連盟の用意する郵便局の払込金受入票に必要事項を記入し郵便局に振り込む。
 - 2) 払込人住所氏名欄に、学校の郵便番号、住所、校名、顧問氏名、電話番号。通信欄に、顧問数、男子部員数、女子部員数、合計人数を記入する。
払込合計人数と、登録用紙に記載された人数が合うよう注意する。
- 4 郵便振替払込金受領証コピーを会費納入書裏面中央に張り付け提出して下さい。会費納入書はホームページよりダウンロードして下さい。
- 5 登録、納入方法の問い合わせ先

松伏高等学校 高校支部会計 橋本 一

住所〒343-0114 北葛飾郡松伏町ゆめみの東2-7-1 TEL 048-992-0121

FAX 048-993-1180

払込金受入票記入控え

払込人住所氏名欄記載事項		通信欄記載事項	
学校の郵便番号 _____		合計人数 _____名 顧問登録数 _____名	
学校の住所 _____		男子登録数 _____名 女子登録数 _____名	
学校名 _____			
顧問氏名 _____			
学校の電話番号 _____			
納入金額		郵便振替 口座番号 00520-0-979	
		加入者名 埼玉県剣道連盟高校支部	

登録方法について

下記申込用紙(このページはサンプルです)と同じものをHPからダウンロードし、記入例に従って入力し、指定のアドレスに5月20日までにデータを送信してください。なお、校内事情等でやむを得ず送信できない場合は、5月25日の代表者会議のときにCD等のメディアで提出してください。(但し、その際のメディアは返却できません)

記入例

平成27年度埼玉県剣道連盟高等学校支部会員登録登録申込書(これはサンプルです)

- 1 学校名 埼玉県立〇〇高等学校
- 2 登録者数 登録者総数 〇〇 名 (内訳 顧問 〇名 男子生徒 〇 名 女子生徒 〇名)

入学年度 (平成)	性別	氏名(カタカナ)	氏名(漢字)	現段級位受領年月日	現段級位登録 申請県名	全剣連番号	学校名	段級位
顧問	1	ヤマダタロウ	山田 太郎	H10.11.25	埼玉県	123456	〇〇高	7
25	2	スズキハナコ	鈴木 花子	H25.8.20	埼玉県	1234567	〇〇高	3
26	2	サイタマ ケンコ	埼玉 剣子	H27.6.10	埼玉県	1324567	〇〇高	2
27	1	サイタマ ケンシ	埼玉 剣士	H26.6.13	埼玉県	1423567	〇〇高	2

以下 省略

記入例に従って入力してください。年月日の前にはH(平成)をつけ、年と月と日の間には「.」(ピリオド)を必ず入れてください。「,」「(カンマ)」にしないようご注意ください。なお英字・数字は全て半角、氏名(カタカナ)はカタカナ**全角**で入力してください。

*入力上の注意

- 1 入力は上から 顧問、3年男子、3年女子、2年男子、2年女子、1年男子、1年女子の順番で行って下さい。
- 2 入学年度は平成で入力してください。
- 3 性別は男子が1、女子が2で入力してください。
- 4 登録用紙の送信先は右記の通りです。(児玉白楊高校 土田毅)

tsuchida.takeshi.b2@spec.ed.jp

平成27年度 高校剣道連盟会員登録申込書学校番号

N o	東部地区校名	N o	西部地区校名	N o	南部地区校名	N o	北部地区校名
101	春日部	201	川越	301	浦和	401	熊谷
102	春日部女子	203	川越女子	302	川口	402	熊谷女子
103	久喜	205	飯能	303	浦和第一女子	404	鴻巣女子
104	不動岡	207	朝霞	304	浦和西	405	本庄
105	越ヶ谷	208	狭山緑陽	305	大宮	406	児玉
106	草加	209	坂戸	306	蕨	407	秩父
109	越谷北	210	豊岡	307	戸田翔陽	408	小鹿野
110	誠和福祉	211	所沢	309	与野	409	深谷
111	吉川美南	212	和光	310	上尾	410	進修館
112	八潮	213	越生	311	川口北	411	鴻巣
113	蓮田松韻	215	新座	312	上尾鷹の台	412	寄居城北
114	越谷南	216	日高	314	大宮武蔵野	414	熊谷西
116	栗橋北彩	217	所沢北	315	上尾南	415	深谷第一
117	三郷	218	志木	316	浦和北	418	妻沼
118	草加南	219	川越南	317	川口東	419	吹上秋桜
119	羽生第一	220	富士見	319	大宮東	420	熊谷農業
120	春日部東	224	ふじみ野	320	南稜	421	秩父農工科学
121	杉戸	226	飯能南	322	大宮南	422	児玉白楊
122	白岡	227	入間	323	浦和東	424	熊谷工業
123	鷺宮	228	朝霞西	324	上尾橘	425	深谷商業
124	越谷西	229	新座柳瀬	325	川口青陵	426	熊谷商業
125	草加東	230	川越西	326	伊奈学園総合	427	皆野
126	三郷北	231	所沢西	327	大宮光陵	430	正智深谷
127	庄和	232	坂戸西	328	鳩ヶ谷	431	東京成徳深谷
130	松伏	233	所沢中央	329	いずみ	432	本庄第一
132	越谷東	234	鶴ヶ島清風	330	川口工業	433	本庄東
133	宮代	235	狭山清陵	331	浦和工業	434	早大本庄
134	草加西	236	川越初雁	332	大宮工業	435	松山
135	八潮南	237	入間向陽	333	浦和商业	4	

平成26, 27年度 総務部役割分担

※ 常任委員 楡井 井上 橋本 小久保 森 山口 梅澤

役割	担当			
	常任委員	専門委員		
要覧作成	橋本	梅澤	内容	剣道専門部要覧の作成。
派遣文書	小久保	東 嶋村 西 渡辺光 南 楡井 北 森	内容 総括	派遣文書の通知。 文書送付先の4名に到着の連絡をして欲しい。各部の文書は、各部で作成。それを小久保へ回し、発番取得。
各種調査	橋本	◎ 斉藤 佐々木	内容	人口調査、段位調査の集計。人口調査は、高体連への報告のため。段位調査は、剣連の報告のため。
会議書記	山口	加藤	内容	常任委員会の会議録。総務の諸会議の会議録。
名簿管理	井上	東 嶋村 西 渡辺光 南 加藤 北 梅澤	内容	地区名簿の作成、管理。 H28年度以降、指導普及部とリンクして1本化の方向。
顧問総会	森 井上 楡井	◎ 山口 渡辺光 関口 清水優 梅嶋 高木和 斉藤 小久保 加藤 佐々木 中阪 嶋村 武井 下梶	内容	顧問総会の司会、資料の運搬、会場設営。
記録報道	楡井	東 小久保 下梶 西 斉藤 渡辺光 南 佐々木 梅嶋 北 梅澤 山口	内容 状況 総括	大会記録の管理、新聞社への原稿提供、高体連への報告。 新聞社への原稿提供： 斉藤・下梶 高体連への報告： 橋本 剣道雑誌への記事提供： 競技部 各地区の大会記録をHPに掲載するため、梅澤と競技部へ報告する。
賞状・賞品	小久保	加藤 下梶	内容 状況	賞状・賞品の準備。 賞品は、碩山基金より財源があるまで。
弁当・湯茶	山口	弁当 佐々木 加藤 湯茶 下梶 原口	内容	大会時の弁当注文、湯茶の準備・片付け。
ホームページ	梅澤	◎ 梅澤 古井 金子	内容 総括	HPの管理。 各部での連絡は、大いに活用。公式文書は禁止。
埼玉県剣道大会 総務	橋本 山口	◎ 梅嶋 斉藤 中阪 原口	内容	大会総務、剣連との連絡。
運営負担金 徴収	森 山口	男子 加藤 渡辺光 女子 下梶 中阪	内容	大会運営負担金の徴収集計、納入。
懇親会	森 山口	◎ 加藤 原口 下梶	内容	懇親会、祝賀会の企画運営。
救護	森	高木和 清水優	内容	救急箱の維持・管理。大会時の看護師の対応。
警備	井上	◎ 嶋村 中阪 梅嶋 古井 原口 金子 渡部 中島 篠原	内容 総括	会場内の警備。 更衣室の使用場所で、競技部との連携が必要。
高校剣道連盟 会計	橋本 楡井 小久保	加藤	内容	高校剣道連盟会計管理。
高体連 会計	森 山口	加藤 下梶	内容	大会会計、高体連との予算折衝。

埼玉県高等学校剣道部人口調査

学校番号		学校名				記入責任者			
所在地	〒				電話	F A X			
顧問氏名	代表者								

1. 剣道部員数（5月20日現在）

	第 1 学 年				第 2 学 年					第 3 学 年					合 計					総 計
段	無	1 級	初段	2 段	無	1 級	初段	2 段	3 段	無	1 級	初段	2 段	3 段	無	1 級	初段	2 段	3 段	
男子																				
女子																				

2. 施設（該当のところに○印をつけて下さい）※昨年と変更ある時だけ記入してください。

ア 専用の道場がある。（長い辺 m×短い辺 m）

イ 専用の道場がない。

3. 体育の授業で剣道を実施しているか。※昨年と変更ある時だけ記入してください。

ア 実施している。（実施している場合 3 年間 時間）

イ 実施していない。

※この調査書は5月27日（火）学校総合体育大会代表者会議の受付時に提出して下さい。

昇段審査 学校団体申込用紙

学校番号_____

受付月日 ____月____日

学校名 _____高等学校

顧問名_____印

部長名_____,

	男子人数	女子人数	教員人数	合計人数	合計金額
初段					
二段					
三段					
合計					

審査料＝ 初段2500円、 二段3000円、 三段4500円

提出は、定められた日の午前中に必ず顧問の先生が所定の場所にて行ってください。その際に、本用紙と申込個票、審査料の3点を必ず揃えて提出してください。

高校剣道連盟会費納入書

払込人住所氏名欄記載事項 学校番号 _____ 学校の郵便番号 _____ 学校の住所 _____ 学校名 _____ 顧問氏名 _____ 学校の電話番号 _____	通信欄記載事項 合計人数 _____名 顧問登録数 _____名 男子登録数 _____名 女子登録数 _____名
納入金額 ¥ _____	

郵便振替払込金受領書コピー添付欄

〈全日制大会〉

剣道 学校総合体育大会(男子)

見本 HPからダウンロードしてください。

学校番号

平成 年 月 日

高体連大会運営負担金納入書

埼玉県高等学校体育連盟

剣道 専門部長 様

学校名

部顧問名

印

競技名

剣道

標記大会へ参加しますので、大会運営負担金を納入します。

大会名	学校総合体育大会 (男子の部)
参加選手数	男子 名
大会運営 負担金	500円× 名分 円

〈剣道学校総合体育大会男子〉

学校番号

平成 年 月 日

領 収 書

様

(500円× 名分)

金

円

平成27年度高校剣道学校総合大会運営負担金として上記金額を領収しました

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長

印

〈全日制大会〉

剣道 学校総合体育大会(女子)

見本 HPからダウンロードしてください。

学校番号

平成 年 月 日

高体連大会運営負担金納入書

埼玉県高等学校体育連盟
剣道 専門部長 様

学校名

部顧問名

印

競技名

剣道

標記大会へ参加しますので、大会運営負担金を納入します。

大会名	学校総合体育大会 (女子の部)
参加選手数	女子 名
大会運営 負担金	500円× 名分 円

〈剣道学校総合体育大会女子〉

学校番号

平成 年 月 日

領 収 書

様

(500円× 名分)

金

円

平成2 年度高校剣道学校総合大会運営負担金として上記金額を領収しました

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長

印

〈全日制大会〉

剣道 新人大会(男子)

見本 HPからダウンロードしてください。

学校番号

平成 年 月 日

高体連大会運営負担金納入書

埼玉県高等学校体育連盟
剣 道 専門部長 様

学校名

部顧問名

印

競技名

剣 道

標記大会へ参加しますので、大会運営負担金を納入します。

大会名	埼玉県高校剣道新人大会（男子の部）
参加選手数	男子 名
大会運営 負担金	500円× 名分 円

剣道 新人大会（男子）

学校番号

平成 年 月 日

領 収 書

様

（500円× 名分）

金

円

平成2 年度高校剣道新人大会運営負担金として上記金額を領収しました

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長

印

〈全日制大会〉

剣道 新人大会(女子)

見本 HPからダウンロードしてください。

学校番号

平成 年 月 日

高体連大会運営負担金納入書

埼玉県高等学校体育連盟
剣道 専門部長 様

学校名

部顧問名

印

競技名

剣 道

標記大会へ参加しますので、大会運営負担金を納入します。

大会名	埼玉県高校剣道新人大会（女子の部）
参加選手数	男子 名
大会運営 負担金	500円× 名分 円

剣道 新人大会（女子）

学校番号

平成 年 月 日

領 収 書

様

（500円× 名分）

金

円

平成2 年度高校剣道新人大会運営負担金として上記金額を領収しました

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長

印

★ 代表者会議には、要覧をご持参下さい

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部連絡先

全般について

委員長 若松 秀樹 (県立ふじみ野高校)
Tel049-264-7801 Fax048-278-1175

支部行事について

東部 石井 浩三 (県立草加南高校)
Tel048-927-7671 Fax048-920-1262

西部 森田 智裕 (県立坂戸高校)
Tel049-281-3535 Fax049-288-1107

南部 土谷 徳男 (市立川口総合高校)
Tel048-265-3315 Fax048-269-9998

北部 持田 泰 (県立秩父農工科学高校)
Tel0494-22-3017 Fax0494-21-1040

大会について

渡辺 秀樹 (県立越ヶ谷高校)
Tel048-965-3421 Fax048-960-1184

審査について

土田 毅 (県立児玉白楊高校)
Tel0495-72-1566 Fax0495-73-1011

強化について

津坂 宗秀 (県立大宮東高校)
Tel048-683-0995 Fax048-680-1900

高校剣道連盟会費について

橋本 一 (県立松伏高校)
Tel048-992-0121 Fax048-993-1180

高校剣道連盟事務局

森田 一成 (県立浦和高校)
Tel048-886-3000 Fax048-885-4647

※ 各種申込は剣道専門部ホームページからダウンロードし提出してください。

平成27年度埼玉県高体連剣道専門部委員会・(財)埼剣連加盟団体高校剣道連盟総会
平成27年4月21日(火)13:45～
埼玉県立武道館
司会 森(常任委員)

次第

1. 剣道専門部委員会

1. 剣道専門部委員会

- ・部長紹介
- ・議長選出
- ・協議事項
- ・役員選出
- ・その他

- ・連絡事項
- 総務部
- 指導普及部
- 競技部
- 強化部

2. 埼玉県高校剣道連盟総会

- ・役員選出
- ・平成26年度決算報告
- ・平成27年度予算(案)
- ・登録について
- ・段位審査会について
- ・事務局より

3. その他